

記載例

一日本形小船、遊船ハ艘數ヲ記スヘシ  
(第四號様式付屬)

合計

種別	摘要		荷積馬車	人力車		牛車	荷積車	
	馬	車		二人乘	一人乘		大車	中小車
二十六年一月一日現在	二匹立	一匹立						
創業								
轉入								
車體變更増								
廢業								
轉出								
車體變更減								
二十六年七月一日現在								

記載例

一各車種トモ輛數ヲ記スヘシ  
(第五號様式付屬)

合計

摘要	員數
創業	
轉入	
廢業	
轉出	
二十六年七月一日現在	

記載例

一員數ハ鑑札枚數ヲ記スヘシ

(第六號様式)

明治何年一月一日現在員數合計表

何市(町)

種目	員數	稅額	煙		草		賣藥營業	船												
			製造營業	仲買營業	小賣營業	西洋形蒸氣船		全風帆船	日本形五拾石以上船	全小船	何間									

遊船	何間	何間	車		牛馬賣買免許	菓		子												
			荷積大車	牛車		全	卸賣	全	小賣											

記載例

一 種目ハ税率ノ異ナル毎ニ分記スヘシ  
 一 員數ノ欄ニハ煙草、菓子ハ營業場數賣藥營業ハ方數小船、遊船ハ艘數車ハ輛數牛馬賣買免許ハ鑑札數ヲ記スヘシ

一 菓子營業者ノ雇人ハ税則第十二條ニ依リ届出ノ一月一日現在員數ヲ以テ分記スヘシ  
 一 税額ハ半年分ヲ記スヘシ  
 一 員數税額ハ數字ヲ以テ記スヘシ

▲訓令第四十五號參照

訓令第百十七號(明治二十五年十二月九日)ハ市町村ニ於テ徵收スヘキ國稅元帳調製手續ノ件ナリ

●訓令第六十號 明治二十六年五月十九日 直稅分署 所得稅調查委員會長

所得稅調查委員

明治二十三年<sup>六</sup>訓令第百二號所得稅調查委員諸給並ニ調查會要品受拂手續第五條用品中「茶」トアルヲ「麥」ト更正ス

▲訓令第六十號參照

訓令第百二號 (明治二十三年六月二十七日)抄錄

第五條 所得稅調查會用品中左ノ物件ハ其需用ニ從ヒ所在收稅部出張所ヨリ交付スヘキニ付同所ニ請求受領スヘシ

但本條請求受領ノ手續ハ出張所ノ指示ニ依ルヘシ  
 用紙、郵便切手、印肉、炭、茶、生麩、

●訓令第七十五號 明治二十六年六月三十日

間稅分署

明治二十四年<sup>三</sup>訓令第三十七號間接國稅ニ關スル臺帳樣式中ハ別紙酒精營業人臺帳同營業稅臺帳同營業稅免除臺帳及同營業人保證金臺帳ノ樣式ヲ追加ス

但別紙樣式ハ別ニ配付ス

明治二十六年七月ヨリ

酒精營業人臺帳

間稅署何分署

備考

一 醫藥用販賣ノ認許ヲ爲シタル者ハ氏名ノ上甲(乙)種トアル協(醫藥用販賣何年何月何日認

許(ト記シ置クヘシ

故 事	切 押			免 許 鑑 札	書 換 再 渡	營 業 場 位 置	住 所	甲 (乙) 種	氏 名
	日 月 年 號 番								

明治二十六年七月ヨリ  
 酒精營業稅彙帳  
 間稅署何分署

備 考

一稅法第五條第二項ニ該當ノ者ハ氏名ノ上甲(乙)種トアルヲ消費者ト記スヘシ

故 事	年 分	種 別	販 賣 (消 費) 石 量	稅 額	住 所	甲 (乙) 種	氏 名			

明治何年分  
酒精營業稅免除臺帳

間稅署何分署

備考

一 醫藥用、工業用ハ口分ニスヘシ  
一 稅法第五條第二項ニ該當ノ者ハ氏名ノ上ニ甲(乙)種トアルヲ消費者ト記スヘシ  
一 年末ニ於テ各人別ニ計ヲ付スヘシ

甲(乙)種	醫藥用	住所	氏名
月分	別	販賣(使用)石量	免稅檢印付與年月日

甲(乙)種	工業用	住所	氏名
檢定年月日	販賣(消費)石量	檢定年月日	販賣(消費)石量

明治廿六年七月ヨリ  
酒精營業入保證金臺帳

間稅署何分署

備考 一事故欄内へハ供託物ノ出入ニ關シ取扱タル一切ノ要領ヲ記摘スヘシ

甲(乙)種 住所氏名

故事	増	定更	減	定更	保証ニ係ル供託物種類			保証金額	酒類販賣見込石高	現金額	何々國債證書額面高	大藏省證券金額	供託物受額年月日番號
					何々國債證書額面高	大藏省證券金額	供託物受額年月日番號						

訓令第七十七號 明治二十六年七月七日 市役所 町村役場

船稅規則第五條及第九條ノ定繫場ヲ所轄外へ變換スル鑑札引換願書ヲ差出シタル者アルトキハ當期ニ係ル稅金ノ納否ヲ調査シテ其願書ノ餘白又ハ欄外へ「何年度前(後)期納稅濟(納稅未濟)」ト記シ市町村長若クハ役所役場印ヲ捺捺スヘシ

▲訓令第七十七號參照

第十三號船稅規則 (明治十六年四月十七日布告)抄錄

第五條 船舶ヲ買賣讓與シタル者ハ雙方連署ノ上買賣讓受主ノ定ムル定繫場所在ノ地方廳ニ願出鑑札ノ引換ヲ乞フヘシ

第九條 鑑札ヲ亡失毀損シタル時或ハ改名代替ノ時或ハ船號ヲ改メ若クハ定繫場ヲ變換シタル時ハ其旨定繫場所在ノ地方廳ニ願出鑑札ノ再渡若クハ引換ヲ乞フヘシ

●訓令第百二十二號 明治二十六年十一月四日 間稅分署

明治二十四年三月訓令第三十七號間接國稅ニ關スル臺帳樣式中へ別紙取引所稅臺帳樣式ヲ追加ス但別紙樣式ハ別ニ配付ス

(別紙)

明治何年度分 取引所稅臺帳

間稅署何分署

備考

一 種目ハ品目等(公債證書ハ種類、利子其他ノ)ノ異ナル毎ニ分配スヘシ  
 (有價證券ハ銀行會社ノ區別)  
 一 賣買數量ハ米穀ハ石數公債證書ハ額面金高株式ハ株數其他ハ其取引所ニ於テ賣買取引ノ物件  
 數ヲ配スヘシ

郡市町村番地

何々取引所

故事	月別		種目	賣買數量	賣買約定代金	稅額
	種別	種別				

(用紙適宜) (米穀取引所ノ分)

明治何年何月分米穀賣買取引各約定代金高届

日付明別	賣買數量代金	賣渡高	買受高	計	賣買各約定代金	日	日二			日	月計	以下倣之	月計
							何月何日	何月何日	何月何日				

右之通相違無之候也

取引所 年月日

何々取引所 理事長 氏 名印

知事宛

(用紙適宜) (肥料等取引所ノ分)

明治何年何月分何々賣買取引各約定代金高届

月計	日計	二日			日計	一日			賣買取引代金
		何月何日	何月何日	何月何日		何月何日	何月何日	何月何日	
	以下倣之								賣渡高
									買受高
									計
									賣買各約定代金

右之通相違無之候也

年

取引所月印

日

何々取引所理事長

氏

名印

知事宛

凡例

一本届ハ商品目等(桐餅、練綿、石油、食鹽、公債證書ハ其種)ノ異ナル毎ニ各別ニ調製スヘシ  
 一賣渡高及買受高ノ欄内ニハ公債證書ハ額面金高株式ハ株數其他ハ其取引所ニ於テ賣買取引ノ物件數ヲ記スヘシ

達乙第三十五號 明治二十六年十月二十七日

(各通)

株式 高岡米穀取引所

會員 高岡肥料外五品取引所

取引所税法第四條ノ一項ニ依リ毎一个月分賣買取引ヲ爲シタル各約定代金高ノ届書ハ別紙様式ニ據ルヘシ

訓令第一〇一號 明治二十六年八月五日

間稅分署

大藏省預金局保管證書等保管方左ノ手續ニ依リ取扱フヘシ

右訓令ス

第一條 間稅分署ニ於テ保管スル大藏省預金局保管證書供託物受領書及營業ニ關スル契約書等



ハ分署長保管ノ責ニ任ヌヘシ

第二條 前條ノ證書類堅牢ナル函内ニ収藏スヘシ

第三條 分署長ハ保管證書類ノ出納主任一名ヲ指定シ函ノ開閉ヲ掌ラシメ立會ノ上出納スヘシ

第四條 保管證書類ノ出納簿ハ別紙様式ニ據リ調製シ出納ノ都度分署長檢印スヘシ

第五條 保管證書類ノ保管ニ關シ必要ト認ムルトキハ検査員ヲ命シ保管證書類ノ出納ヲ臨時檢査セシムルコトアルヘシ

備 考	
何年何月何日營業免許ニ付証約物件 同 上	
何年何月何日廢業ニ付証約物件還付	
何年何月何日營業免許ニ付証約物件	
備 考	
一本簿ハ種目毎ニ口譯ヲナスヘシ	
一凡テ計ハ朱書スヘシ	

々 税						
番 號	受 高		拂 高		殘 高	
	金 額	枚數	金 額	枚數	金 額	枚數
第 何 號	100,000	1				
第 何 號	300,000	1			400,000	2
	400,000	2			400,000	3
第 何 號			100,000	1	300,000	2
第 何 號	700,000	1			1,000,000	3
	700,000	1	100,000	1	1,000,000	3
	1,100,000	4	1,100,000	4		

年 月 日		摘 要	種 目	額 面	金 高
二十六	一	何ノ某ヨリ受	保管證書并 納稅保證書	百 圓	圓
一	ク	何ノ某ヨリ受			
		計			
	十二	何ノ某へ渡ス	管保証書并 納稅保證書	百 圓	圓
十	ク	何ノ某ヨリ受			
二十七		計			
	三十一	二十七年四月 一日へ越高			
三					

● 租稅外諸收入

● 訓令第二十七號 明治二十六年三月二十八日 郡役所 上新川婦負ノ兩郡役所ヲ除ク 同所在勤 収入官吏

明治二十五年七月 訓令第七十五號ノ歳入調定ニ關スル費用並右ニ属スル収入官吏ノ取扱ニ係ル費用ハ自今總テ其役所ノ經費ヨリ支辨スヘシ

● 訓令第三十四號 明治二十六年四月七日 直稅分署長 間稅分署長

明治二十三年十一月 達甲第四號租稅外諸收入取扱ニ要スル物品取扱規程第三項左ノ通改正ス

一 消耗品ハ凡六ヶ月分 四月ヨリ九月マテ 十月ヨリ三月マテ ヲ、需用ノ員數ヲ概定シ前月二十五日 本廳へ到達ノ豫定ヲ以テ可差出マ

テニ請求シ備品ハ其必要ノ時々請求スヘシ

▲訓令第三十四號参照

達甲第四號(明治二十三年十一月十四日)抄録

一 消耗品ハ凡一ヶ月分ツ、需用ノ員數ヲ概定シ前月二十五日定テ以テ可差出  
高ハ一ヶ月毎ニ精算シ翌月五日迄ニ物品會計官吏ヘ報告スヘシ

●富山縣訓令第二百二十七號 明治二十六年十二月二十二日 収 稅 署 同署在勤 收入官吏

明治二十六年十一月十一日 大藏省訓令第四十二號諸收入収納取扱規程ニ依リ収稅署長ニ委任シ同規程第二條ノ事務及ヒ諸收入収納ノ監督ヲ分掌セシメ候條左ノ手續ニ依リ取扱フヘシ

但明治二十四年四月訓令第六十二號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第一條 収稅署長ハ左ニ掲グル科目ニ屬スル諸收入ヲ測定シ其測定元帳ハ第一號書式ニ依リ整理スヘシ

歳入經常部

雜 收 入	款 項	目	主 管 廳 名
懲罰及沒收金			

辨 價 金	罰 金 及 科 料	大 藏 省 主 管
沒 收 金	同	
國稅滯納處分費辨納金	同	
間接國稅犯則者處分費辨納金	同	

第二條 収稅署長前條ノ測定ヲ爲シタルトキハ諸收入測定元帳ニ據リ第二號書式ノ測定額報告書ヲ調製シ第三號書式ノ参照書類ヲ添ヘ翌月一日ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ

但測定額アヲサルトキハ其旨該期日ニ報告スヘシ

第三條 収稅署長ハ法律勅令ニ依リ納金ノ缺損ニ歸シタルモノアルトキハ缺損金明細書ヲ調製シ翌月五日迄ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第四條 収稅署長ハ諸收入収納取扱規程第十二條第二項ノ調査ヲ了シタルトキハ該領收濟ノ通知書ヲ取纏メ翌月五日迄ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ

但分任收入官吏ノ交替アリタル月ニ於テハ本條ノ通知書ハ任前者ト後任者ヲ區別スヘシ

第五條 過誤納ヲ發見シ其拂戻ヲ要スルトキハ其金額事由納人ノ住所氏名ヲ詳記シ直ニ下戻方知事ニ上申スヘシ

第六條 本訓令ニ指示シタルモノ、外ハ總テ諸收入収納取扱規程ニ依リ取扱フヘシ  
(第一號)

告知書 番號	徵收期限	告知書發付	號	明治	年	明治	月	日
			號	明治	年	明治	月	日
所屬年度	款	項	目	納人住所姓名				
年度				主任收入官吏某所屬分任收入官吏某扱				
主任收入官吏某所屬分任收入官吏某扱								
應管主								
應取扱								
一金								
但何々 (徵收スヘキ金額ノ事由ヲ摘記スヘシ)								
明治 年 月 日 へ納濟								
要 摘								
(第二號書式) 何月分調定額報告書								
科	目	前月迄調定額	本月中調定額	累	計			

何々	(款)							
何々	(項)							
何々	(目)							
何々	(款)							
何々	(項)							
何々	(目)							
合	計							

右明治何年度經常(臨時)歳入何年何月中調定額書面ノ通有之候也  
 年月日 歳入調定者 官氏 名 印  
 縣知事宛  
 (第三號書式) 明治何年何月分歳入滞納處分費明細書  
 一金 何程  
 内 譯

區	別	數	量	單	個	調定金額
---	---	---	---	---	---	------

督促命令狀手数料	何	通	何	錢	何	圓
差押ニ關スル何々用紙	何	枚	何	錢	何	圓
滞納者(或ハ債主負債者)へ 通信ニ係ル書留郵便手数料	何	度	何	錢	何	圓
評價人給料	何	人	何	拾	何	圓
看守人給料	何	人	何	拾	何	圓
差押物件運搬費	何	度	何	錢	何	圓
差押物件置物敷料	何	所	何	錢	何	圓
物件賣却場所借料	何	度	何	錢	何	圓
賣却物件新聞へ公告料	何	度	何	錢	何	圓

(本文書式ヲ示シタルモノノ外實際收入ノモ  
ノハ其種類ニ應シ渾テ右ニ準シ記載スヘシ)

右之通候也

年月日

縣知事宛

歲入調定者 官氏

名 印

明治何年何月分歲入懲罰及沒収金并辨償金明細書

一金何程

罰金及科料

內 譯

區	別	調	定	金	額	事	由
何々	稅	則				何	人
何々						何	人

一金何程

間接國稅犯則者處分費辨納金

內 譯

區	別	數	量	單	個	調	定	金	額
通告書	遞送費	何	度	何	錢				
何々									

右之通候也

年月日

縣知事宛

歲入調定者 官氏

名 印

▲富山縣訓令第百二十七號參照

訓令第六十二號(明治二十四年四月四日)ハ諸收入収納取扱順序ニ依リ該収納事務ヲ直稅分署長間稅分署長ニ委任シ其取扱手續ヲ規定セシ件ナリ

富山縣訓令第百二十九號 明治二十六年十二月二十八日

警察 署 富山警察署  
同署ヲ除ク  
同署在勤  
收入官吏

明治二十六年十一月十一日 大藏省訓令第四十二號諸收入収納取扱規程ニ依リ警察署長ニ委任シ同規程第二條ノ事務及諸收入収納ノ監督ヲ分掌セシメ候條左ノ手續ニ依リ取扱フヘシ

但明治二十四年四月訓令第六十四號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第一條 警察署長ハ左ニ掲クル科目ニ屬スル收入ヲ測定シ其測定元帳ハ第一號書式ニ依リ整理スヘシ

歳入經常部

雜收入	款	項	目	主管應名
			懲罰及沒收金	
			罰金及科料	
			大藏省主管	

第二條 警察署長前條ノ測定ヲ爲シタルトキハ諸收入測定元帳ニ據リ第二號書式ノ測定額報告書ヲ調製シ第三號書式ノ参照書類ヲ添ヘ翌月一日ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ

但測定額アラサルトキハ其旨該期日ニ報告スヘシ

第三條 警察署長ハ諸收入収納取扱規程第十二條第二項ノ調査ヲ了シタルトキハ該領収濟ノ通知書ヲ取纏メ翌月五日迄ニ之ヲ知事ニ差出スヘシ

但分任收入官吏ノ交替アリタル月ニ於テハ本條ノ通知書ハ前任者ト後任者ヲ區別スヘシ

第四條 過誤納ヲ發見シ其拂戻ヲ要スルトキハ其金額事由納人ノ住所氏名ヲ詳記シ直ニ下戻方知事ニ上申スヘシ

第五條 本訓令ニ指示シタルモノ、外ハ總テ諸收入収納取扱規程ニ依リ取扱フヘシ

(第一號書式)

告知書番號	徵收期限	告知書發付日	納人住所姓名		主任收入官吏某所屬分任收入官吏某扱
			姓名	住所	
號	明治 年 月 日	明治 年 月 日	姓名	住所	
年度	款	項	目		
			主管應		
			取扱應		

一金

明治 年 月 日 納済

但何々(徴收スヘキ金額ノ事由ヲ摘記スヘシ)

要 摘

(第二號書式)

何月分調定額報告書

科 目	前月迄調定額	本月中調定額	累 計
何々 (款)			
何々 (項)			
何々 (目)			
何々 (款)			
何々 (項)			
何々 (目)			
合 計			

右明治何年度經常(臨時)歳入何年何月中調定額書面ノ通有之候也

年 月 日

縣 知 事 宛

歳入調定者 官 氏 名 印

(換刑處分ニヨリ調定額ヲ扣除シタルトキノ例)

何月分調定額報告書 (表中)「印ハ朱書ナリ」

科 目	前月迄調定額	「扣 除 額」	更 正 額	本月中調定額	累 計
何々 (款)					
何々 (項)					
何々 (目)					
合 計					

右明治何年度經常(臨時)歳入何年何月中調定額書面ノ通有之候也

年 月 日

縣 知 事 宛

歳入調定者 官 氏 名 印

(第二號書式)

何年何月中違警罪科料金明細書

一金何程

科料

内譯

類別	調定金額	事由
刑法違警罪科料		何人
湯屋取締規則		何人
煙草稅則		何人
街路取締規則		何人
富山縣違警罪科料		何人
何々		何人
合計		

右之通候也

年月日

縣知事宛

歳入調定者 官氏 名 印

(本文書式ヲ示シタルモノノ外實際收入ノモノハ其種類ニ應シ渾テ右ニ準シ記載スヘシ)

(參照)

訓令第六十四號(明治二十四年四月四日)

諸收入收納取扱順序ニ依リ該收納事務ヲ警察署長ニ委任シ其取扱手續ヲ規定セシ件ナリ

富山縣訓令第三百三十一號 明治二十六年十二月二十八日 郡役所 同所在勤 出納官吏

歳入歳出外ニ屬スル現金取扱方左ノ通相定メ來ル明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

但明治二十五年七月訓令第七十四號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第一條 明治二十四年二月告示第十號官有地及生産物質渡貸渡手續ニ依リ徵收スル保證金并明治廿六年十二月訓令第三百三十五號ニ依リ徵收スル保證金ハ出納官吏ニ於テ保管スヘシ  
保管ノ數月又ハ數年ニ渡ルモノハ保管金取扱規程ニ依リ取扱フヘシ

第二條 出納官吏ハ明治二十二年十月大藏省令第十三號ニ依リ前條第一項ノ現金ヲ金庫ニ委託シ雜部金トシテ取扱フヘシ但暫時ノ保管ニシテ金額ノ些少ナルモノハ出納官吏ニ於テ現金ノ儘保管スルコトヲ得

第三條 落札人ノ確定若クハ土地物品ノ受渡ヲ了シ又ハ貸渡ノ期滿ニ依リ其地所若クハ物品ヲ還納シ納人ヨリ保證金ノ下戻ヲ請求セシトキハ第一號書式ニ依ラシムヘシ



第四條 出納官吏ハ前項ノ請求書ヲ受ケタルトキハ契約擔任者ノ檢印ヲ得テ該保證金ヲ納人ニ交  
付シ第二號書式ノ領收證書ヲ差出サシムヘシ

第五條 違約ニ依リ保證金沒收ノ處分ヲ爲シタルトキハ第三號書式ニ依リ即日契約擔任者ヨリ知  
事ニ報告スヘシ

當廳ハ前項報告ニ依リ契約擔任者ニ對シ納入告知書ヲ交付ス

第六條 契約擔任者ハ前條ノ納入告知書ヲ受ケタルトキハ出納官吏ヨリ保管ノ現金ヲ受取り該告  
知書ヲ添ヘ之ヲ金庫ニ納付シ第四號書式ノ領收證書ヲ出納官吏ニ交付スヘシ

第七條 出納官吏ハ第二條但書ニ依リ現金ノ保管ヲ爲シタルモノハ會計検査院ヘ證明ヲ要セス

(第一號書式) (用紙八寸紙又ハ八寸系紙)

請求書

郡市町村番地又ハ寄留

一金何程

何 某印

但(落札人確定)拂下(地所)(物品)(何月何日)(受取濟)(拜借地還納濟)ニ付(何々)保證金下  
戻之分

(第二號書式)(金員領收ノトキハ左ノ通記ヲ捺印スヘシ)

右正ニ受取候也

右

年月日

何 某印

出納官吏

(此印ハ請求書ノ印  
ト同印ヲ用ユヘシ)

官氏名宛

(第三號書式) (用紙八寸系紙)

保證金沒收報告

一金何程

但何某何月何日納付ノ何々保證金違約ニ依リ本日沒收

右報告候也

契約擔任者

年月日

官 氏 名 印

歳入調定官

縣知事宛

(第四號書式)

(用紙八寸系紙)

一金何程

證

但何某納付ノ何々保證金違約ニ依リ歳入ヘ納付スヘキ分  
右受取候也

契約擔任者

年月日

官

氏

名印

出納官吏

官氏名宛

●地方税

●縣令第八號 明治二十六年二月十三日

地方税費目中へ縣會ノ決議ヲ經其筋ノ裁可ヲ得テ借入償還金ノ一項ヲ増加シ明治二十六年度ヨリ  
施行ス

●告示第十一號 明治二十六年二月二十四日

靜岡縣ニ於テ同縣下天龍大井安倍富士狩野ノ五川ヲ流下スル後ハ明治二十六年度以後其後主ヨリ

役税ヲ徴収スルニ付本縣下居住者ニシテ後主トナリ右五川ニ於テ後ヲ流下スルトキハ同縣下市町  
村該川最寄ニ土地若クハ家屋ヲ所有シ現住スル者ヲ以テ納税代理人トシ雙方連署ノ上其市町村役  
場へ届出ツヘシ

●訓令第二十四號 明治二十六年三月二十一日 郡市役所 町村役場  
地方税收納臺帳并ニ收納日計簿様式左之通り相定メ明治二十六年度ヨリ施行ス

明治何年度 何税

地方税定期收納臺帳

(何郡市役所  
何町村役場)

號	何第	號番
何	〔金何程〕	第一期
何	〇	第二期
何	金	第三期
何	金	第四期
何	金	納稅者
何	某	

計 合	金何程○ 内 金何程○何月何日 納付 外 金何程○滞納報告	第何號		納 税 者
		明 治 年 月 日 收 入	滞 納 ニ 付 何 月 何 日 報 告	
				何 某

一此用紙ハ地租割及戸數割ニ用井臺帳ハ各別ニ調製スヘシ  
 一地租ニ増減ヲ生シタルカ爲メ地租割ニ異動ヲ生スルトキハ納税者氏名ノ左傍ニ其増減ノ事由ヲ朱書シ之ニ檢印スヘシ  
 一戸數割ヲ納ムルモノ年度中他ニ轉出シ又ハ他ヨリ轉入スルトキハ納税者氏名ノ左傍ニ何年何月何日何所ヨリ轉入又ハ何所ニ轉出ト朱書シ之ニ檢印スヘシ  
 一表中○ヲ付シタルハ取扱者ノ印(○ヲ付シタルハ徵稅傳令書ト割印シタル町村役場ノ印以下各様式皆全シ)

計 合	金何程○ 内 金何程○何月何日 納付 外 金何程○滞納報告	第何號	第何號		納 税 者
			明 治 年 月 日 收 入	滞 納 ニ 付 何 月 何 日 報 告	
					大字何町村 (何郡市何町村大字何町村) 何 某

一此用紙ハ年税ヲ賦課スルモノ及商業中營業會社ニ用井臺帳ハ一種目毎ニ調製スヘシ但便宜ニ依リ一帳トシテ見出シテ付スルモ妨ケナシ  
 一年度中轉出入又ハ創廢業アルトキハ納税者氏名ノ左傍ニ何年何月何日何所ヨリ轉入又ハ

何所へ轉出或ハ何年何月何日創業又ハ廢業ト朱書シ之ニ檢印スヘシ

第何號

何 某

分月二十	分月八	分月四
		何月何日傳令書發ス 金何程○ 明治何年何月何日 收入
分月一	分月九	分月五
		月日傳令書發ス 金何程○ 滯納ニ付何月何日 報告 明治年月日收入
分月二	分月十	分月六
分月三	分月一十	分月七

一此用紙ハ月税ヲ賦課スルモノノ漁業中鯨海豚漁ニ用キ一種目毎ニ臺帳ヲ調製スヘシ但便宜ニ依リ一帳トシテ各見出シテ付スルモ妨ケナシ

ニ依リ一帳トシテ各見出シテ付スルモ妨ケナシ

一年度中轉出入又ハ創廢業アルルハ納稅者ノ冒頭ニ何年何月何日何所ヨリ轉入又ハ何所へ

計 合	號 第	號 第	號 番
	明治年月日收入	金何程○ 明治何年何月何日收入 月日傳令書發ス	何月何日傳令書發ス
		何年何月何日ヨリ始業 又ハ何々	徵 稅 額
			摘 要
		何	納 稅 者
		某	

轉出或ハ何年何月何日創業又ハ廢業ト朱書シ之ニ檢印スヘシ

一毎月ノ税金ヲ賦課シタル後ハ毎種目ノ末尾ニ合計ヲ付スヘシ

一此用紙ハ漁業中鯨海豚季節税ニ用キ一種目毎ニ臺帳ヲ調製スヘシ但便宜ニ依リ一帳トシテ各見出シテ付スルモ妨ケナシ

明治何年度  
地方税随時收納臺帳

(何郡何市何町何村役場所)

番	號	第	何	號	第	號
			相撲與行税			稅目
			何月何日ヨリ何月何日マテ何日間分傳令書何月何日發付 全上日數ノ内何日間休業			摘要
			金何程○ 何月何日收入 何月何日納付 内 金何程○ 但過納ニ付何月何日還付			稅額
						納稅者
						何 某

一此用紙ハ日税新規開業ノ稅其他隨時徵收スヘキモノニ用非帳簿ハ一冊トシテ一種目毎ニ見出シテ付スヘシ但便宜ニ依リ種目毎ニ別ニ帳簿ヲ調製スルモ妨ケナシ

明治何年度  
地方税收納日計簿

(何郡何市何町何村役場所)

月	日	稅目	徵收金額	送納金額	送納殘高
四月五日		戶數割	一〇〇〇		
		地租割	〇五〇〇		
計			一五〇〇		一五〇〇
四月六日				一五〇〇	〇
四月二十九日		料理屋稅	〇八〇〇		
		紺屋稅	〇七〇〇		
		地租割	一〇〇〇		

計	二五〇〇		二五〇〇
四月三十日		二五〇〇	〇
合計	四〇〇〇	四〇〇〇	〇

一毎月末ニ於テ合計ヲ付スヘシ

### ●市町村税

訓令第三十六號 明治二十六年四月十四日 郡市役所 町村役場

地租制限超過ノ課税及特別税新設等ノ許可ヲ請フモノハ前年度若クハ其年度ノ始メニ於テ進達可致旨明治二十三年七月訓令第六號ヲ以テ訓令候處其年度ニ於テ徴収スヘキモノヲ年度末ニ至リ稟請スルモノ往々有之不都合不尠候條自今市制及町村制第七條ニ依リ調製シタル豫算表ニシテ市制第二百二十二條町村制第二百十六條ニ依リ許可ヲ請フモノハ豫算議決後速ニ稟請候條特ニ注意スヘシ

但災害其他豫知スヘカラサル場合ニ於テ臨時收支ヲ要スルトキハ時日ヲ遷サス追加豫算ヲ議決シ速カニ進達スヘシ

訓令第六十五號 明治二十六年六月二日 郡市役所 町村役場

市町村ニ於テ地租制限外其他直接國税百分ノ五十ヲ超過スル附加税又ハ間接國税ノ附加税ヲ賦課

シ若クハ特別税ヲ新設變更スル市町村會ノ議決ノ許可ヲ稟請スルトキハ左ノ書類ヲ添付スヘク且町村ハ別ニ歳入出豫算表 市町村事務報告例ニ依リ既ニ當廳ニ報告セシモノハ除クヲ當廳ニ差出スヘシ

但本文ニ抵觸スル從前ノ訓令等ハ渾テ取消ス

一市町村歳入一覽表 別紙第一號表式ニ準ス

一同 歳出一覽表 別紙第二號表式ニ準ス

但此歳出一覽表ハ地租制限外其他直接國税百分ノ五十ヲ超過スル附加税又ハ特別税若クハ間接國税附加税ノ賦課ヲ議決シタル豫算ノ歳出ヲ掲クヘシ若シ其豫算二種以上ニ涉ルモノハ各別ニ調製スヘシ

一 地租制限外其他直接國税百分ノ五十ヲ超過スル附加税又ハ特別税若クハ間接國税附加税賦課ニ關スル市町村會議決書及其理由書

一 同上議決書ニハ賦課ノ年度地租制限外其他直接國税百分ノ五十ヲ超過スル附加税ハ超過金額及其課率(課率金額ハ厘以) 特別税間接國税附加税ハ課税物件課率等ヲ明記スヘシ

一 同上ニ關スル市參事會町村長ノ稟請書中ニハ其課税ヲ要スルノ費途及議決ヲ爲シタル會議名ヲ掲クヘシ

一 町村組合町村學校組合二十二年法律第十一號ニ依リ存續シタル會議ニ係ルモノハ前各項ニ準シ

調製スシ

(第一表)

(〇印ハ朱書)

某縣某郡(市)某町明治何年度歳入一覽表

(第一例)

費 途	附 加		特 別	税		其他 收入	計
	地價割	戸別割		營業割	何々附加税		
本市經常費	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇		〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
本市臨時費							
町外何々町 村組合經常費							
町外何々町 臨時費							
何水利土功會 經常費							
同臨時費							
何町外何々町 村聯合會經常 費							
同臨時費							
合計							

何々々	何々々	合計
地租金若干 此七分ニ若干 超過若干 剩餘若干	戸數幾戸 平均一戸ニ 付金若干又 ハ建坪總數 幾個 金若干	地方税金若干 此何分 本税金若干 此何分
地價割總額 金若干 此課率地 租金壹圓 ニ付若干 最近地租額 若干 此七分ノ 一金若干 超過金若干		但直接國 稅ノ附加 稅地價割 依例ニ 剩餘ヲ揭 トスモノ 金若干
		何段則何町步 一段步ニ付若干 地租若干 壹圓ニ付若干 但不均一 ノ稅率ハ ルモノハ 其稅率ニ 依リ内課 ヲ掲ケル モノトス 上欄ノ各 例目トス

凡 例

一 費途ノ欄ニハ地租制限外其他直接國稅百分ノ五十ヲ超過スル附加稅又ハ特別稅若クハ間接國稅  
加附稅ノ賦課ヲ要スル費途ヲ墨書シ其他ノ費目ハ朱書スヘシ

一其他ノ收入ノ欄ニハ課税外一切ノ收入即チ雜收入使用料手数料國庫及地方税交付金財産ヨリ生  
 スル收入等ヲ合計シテ記入スヘシ

一特別税中市制第二百二十二條町村制第二百二十六條ニ依リ許可ヲ要セスシテ從前ノ儘存置シタルモ  
 ノハ特別税ノ欄特別税目ノ肩書ニ存置ノ二字ヲ票記スヘシ

一地租制限外課税ノ場合ニ於テ各費途ノ豫算議決ノ時ヲ異ニシテ從ツテ其地租額ニ異動アルトキ  
 ハ各々地租壹圓ニ對スル課率ヲ算出シ之ヲ合計シテ最近地租額ニ乘シ地價割總額ヲ算出シ之レ  
 ヨリ最近地租額ノ七分ノ一ヲ引去リ以テ超過額ヲ算出スヘシ

但各費目ノ税率ハ地價割ノ下段ニ同上課率ノ一欄ヲ設ケ之ニ記入スヘシ

一地租制限外課税ヲ二回以上稟請シタルトキハ本表ノ制限超過額ニハ許可濟又ハ稟請中ノ分ト現  
 ニ稟請スルモノトノ内譯ヲ付スヘシ

一市町村内ノ各部賦課ノ税率ヲ異ニシ又ハ各費目ニ付負擔ノ區域ヲ異ニスルトキハ歲入一覽表ハ  
 第二例ニ依リ各費目ニ付負擔ノ同シキ區域毎ニ調製スヘシ

(第一表)

某縣某郡(市)某町明治 年度歲入一覽表

(第二例)

費途	附加		特別	其他ノ	計					
	地價割	戸別割				營業割	何々附加税	段別割	田地價割	收入
何區經常費										
本町村經常費	地租金若干 此七分ノ若干 超過若干 剩餘若干	戸數幾戸 平均一戸ニ 付金若干 幾個總數 平均幾坪ニ 付金若干	地方税金若干 此何分ニ 付金若干	本税金若干 此何分ニ 付金若干 但直接 税ノ附加 割ハ地價 依リ超過 剩餘ノト ス	何段別何町步 費幾歩ニ付 若干若干 壹圓ニ付 租若干 地若干 壹圓	田地價 若干 百圓當 若干				
何區臨時費										
計										



計	何區經常費	何區經常費 。本町村經常費
	同	
	同	
	同	
	同	
	同	
	同	
	同	

(第二表)

某縣某郡(市)某村明治何年度何費歲出表

科目	金額	摘要	合計
會議費	〇、〇〇〇	給料、雜給、需用費、常時修繕費、通信運搬費、備品費、消耗品費、 議員實費、辦價額、書記給料、印刷料、筆工料、消耗品費、 雇給、通信費、	
土木費		道路、橋梁、堤防、用惡水路、樋管水門、各修繕費、	
教育費		教員給料、同恩給基金、備品費、消耗品費、修繕費、	
衛生費		種痘費、傳染病豫防費、	
救助費		貧民施療費、貧民救助費、	
警備費		消防費、水防費、	
勸業費		勸業會費、害虫驅除給、	
公債費		某年度起債、內本年度償還元利金、	

諸税及負擔	地租、地租割、何用水々利土功費負擔、各町村組合費負擔
雜支出	火災保險料、山番給、墓地費、
豫備費	豫算外ノ費用又ハ豫算超過ノ費用ニ充ツヘキ分
計	

●訓令第七十二號 明治二十六年六月十六日

郡市役所 町村役場

市町村豫算ハ收入ト支出トヲ以テ成立スルモノナルニヨリ市制第百二十二條及第百二十三條町村制第百二十六條及第百二十七條等ニ據リ上級官廳ノ許可ヲ要スル事項アルトキハ其許可前ニ於テハ豫算ノ全部効力ヲ有セス隨テ條例又ハ議決ヲ以テ一定ノ賦課額ヲ規定シテ豫メ許可ヲ請ケ其年度豫算ノ成立スルト否トニ拘ハラズ賦課スヘキモノヲ除ク外市町村税ノ徵收ハ勿論一切ノ支出ヲ爲スコトヲ得サルモノニ付市町村ニ於テハ法定ノ期限迄ニ豫算ヲ調製シ可成速ニ許可ヲ請フノ手續ヲ盡スヘシ但其費途ニシテ分割スルヲ得ヘキモノニ在テハ市町村ノ便宜ニヨリ許可ヲ要スヘキ部分ノ收入支出ヲ追加豫算トシテ別ニ之ヲ定ムルモ妨ケナシ

●第八類

●印紙

●富山縣告示第百十六號 明治二十六年十二月二十二日

明治二十三年十一月十一日 大藏省令第三十四號印紙類賣下賣捌規則施行細則第一條第二項ニ依リ印紙類賣捌區域及賣捌人員左ノ通相定ム

收稅郡市賣捌署名		富山縣				
區域	賣捌區域	市	町	村	賣捌人員	
一區	東岩瀬町 濱黒崎村 針原村 大廣田村 廣田村 豐田村 吳田村 新庄町 島村 山室村				四人	
二區	船峠村 大久保村 大澤野村 福澤村 下夕村 大山村 上瀧町 大庄村 月岡村 熊野村 堀川村 新保村 蛭川村 太田村				貳人	
三區	五百石町 東三郷村 西三郷村 舟橋村 利田村 寺田村 弓庄村 高野村 大森村 上段村 下段村 東谷村 釜ヶ淵村 布倉村				貳人	
四區	上市町 山加積村 南加積村 宮川村 相ノ木村 音杉村 柿澤村 大岩村 白萩村				貳人	
五區	滑川町 中加積村 濱加積村 北加積村 東加積村 西加積村 上條村 下條村 東水橋町 西水橋町 早月加積村				五人	

山 富		
六區	七區	八區
富山市大字 富山愛宕町 富山舟橋新町 富山御福新町 富山古手傳町 愛宕元町 畑中町	富山總曲輪 富山西町 富山一番町 富山二番町 富山越前町 富山旅籠町 富山平吹町 富山鉄炮町 富山七軒町 富山荒町 富山諏訪川原 富山鹿島町 富山長柄町 富山中長柄町 富山土居原町 富山桃井町 富山堀端町 富山相生町 富山山王町 富山千石町 富山覺中町 富山西四十物町 富山大工町 富山太田口町 富山中野新町 富山中野町 富山星井町 富山南田町 富山木町 富山櫻木町 磯部町 西中野町 小泉町 西田地方町	富山古銀冶町 富山東三番町 富山西三番町 富山南新町 富山五番町 富山梅澤町 富山辰巳町 富山黒木町 富山村木町 富山上金屋町 富山銀冶町 富山東堤町 富山西堤町 富山衣服町 富山殿町 富山八人町 富山小島町 富山新川原町 富山今町 富山北横町 富山下川原町 富山今木町 富山下木町 富山東四十物町 富山袋町 富山中町 富山豊川町 富山仁右衛門町 富山蛭町 富山石倉町 富山立町 富山砂町 富山常盤町 富山室屋町 富山餅指町 大泉町
參人	拾貳人	九人

魚 津 収 稅 署		署	
高 射	郡 川 新 下	郡 負 婦	市
一區	五區 四區 三區 二區 一區	十二區 十一區 十區	九區
金山村 水戸田村 榎田村 二口村 大島村	泊町 五箇庄村 宮崎村 境村 南保村 大家庄村 舟見町 下立村 丙山村 野中村 山崎村 愛本村 入善町 飯野町 青木村 横山村 上原村 柗山村 小摺戸村 新屋村 三日市町 村椿村 生地町 石田村 大布施村 東布施村 前澤村 田家村 荻生村 若栗村 浦山村	八幡村 熊野村 速星村 鵜坂村 神明村 東吳羽村 西吳羽村 櫻谷村 長岡村 寒江村 百塚村 草島村 倉垣村 四方町 八尾町 保内村 室牧村 宮川村 杉原村 黒瀬谷村 卯花村 細入村 野積村 仁歩村 大長谷村	富山市大字 富山柳町 富山泉町 富山向川原町 富山東田町 富山西仲間町 富山若木町 富山北新町 富山稻荷町 富山東仲間町 富山下金屋町 富山上立町 清水町 西公文名町
參人	七人	五人	參人

出 磯	署 税 収 岡				
	市 岡 高		郡 水		
	一區	六區	五區	四區	三區
出町 水島村 南般若村 柳瀬村 津澤町 高波村 是戶村 野尻村 五鹿屋村	高岡市 關町 二番町 金屋町 内免町 横田町 百姓町 横田新町 木津町 片原中町	高岡市 橋番町 新横町 一番町 關町 二番町 御馬出町 通町 博勞邊町 旅籠町 中島町	定塚町 坂下町 小馬出町 木舟町 利屋町 檜原淵町 横町 平米町 袋町 立横町 川原地子 川原地子 母衣町 繩手中町 繩手下町 地子木町 木町 大坪地子 風呂屋町 中川原町 上川原町	伏木町 守山村 二塚村 佐野村 淺井村 西條村 掛開發村 能町村 野村 横田村 下關村	新湊町 牧野村 塚原村 片口村 作道村 堀岡村 海老江村 氷見町 太田村 宮田村 窪村 神代村 十二町村 布勢村 佛生寺村 久目村 稻積村 加納村 上庄村 速川村 阿尾村 熊無村 藪田村 余川村 碓石村 宇波村 八代村 女良村
六人	七人	六人	五人	四人	

署 税 収 町	郡 波				
	八區	七區	六區	五區	四區
	城端町 大鋸屋村 能美村 山田村 南山田村 北山田村 井口村	福光町 太美山村 東太美村 西太美村 廣瀬館村 吉江村 廣瀬村	石黒村 東石黒村 南壘谷村 西野尻村	井波町 利賀村 東山見村 南山見村 高瀬村 廣塚村 南野尻村	山野村 種田村 青島村 中野村 雄神村
豐人	四人	三人	五人	四人	

▲富山縣告示第百十六號參照

大藏省令第三十四號 (明治二十三年十一月十四日抄録)

明治二十三年十一月十一日勅令第二百七十一號印紙類賣下賣捌規則施行細則之通相定ム

第一條 元賣捌人ハ本店ヲ府縣廳所在ノ地ニ置キ各間稅分署所轄内ニ支店又ハ代理店ヲ設クヘ

賣捌人ハ各間稅分署所轄内ヲ一區若クハ數區トシ其區内ノ地勢商業等ノ實況ニ應シ府縣知事  
適宜其人員ヲ定ムヘシ

(二十六年十月大藏省令第二十四號ヲ以テ本條中ヘ追加)

●達乙第二十八號 明治二十六年八月十九日

印紙類賣捌人

明治二十三年<sup>十二</sup>月 達乙第拾三號印紙類請求手續等心得中第一項第三項及第一號第四號第七號ノ書  
式左ノ通更正ス

第一項 印紙類ノ請求ハ每一ケ月及至二三ケ月中賣捌ヘキ豫算高ヲ調査シ少クモ三十日以前ニ  
於テ第壹號書式ニ依リ請求書ヲ調製シ間稅署ニ差出スヘシ

請求印紙類ノ下渡日限ハ間稅署ヨリ通達セシムヘキニヨリ當日請取方ノ手續ヲ爲スヘシ印紙  
類ハ賣捌ニ差支ヲ生セサル様各種類ヲ合セ常ニ額面金貳萬五千圓以上ヲ備ヘ置クヘシ印紙類  
ノ代金ハ第二項ノ順序ニ依リ納入ヲ了シ其領收證書ヲ間稅署ニ持參シ印紙類ノ下渡ヲ請フヘ  
シ

第三項 印紙類代金ノ延納ヲ願ハントスルハ第四號ノ書式ニ依リ願書ヲ調製シ第壹號ノ請求  
書ト共ニ間稅署ニ差出スヘシ

印紙類代金延納證書ハ第五號書式ニ依リ調製シ抵當公債證書ハ保管金取扱規程第四條ニ依リ  
寄託通知書ヲ得テ富山本金庫ヘ拂込ミ其保管證書ト共ニ間稅署ニ差出シ印紙類ノ下渡ヲ請フ  
ヘシ

印紙類延納代金ヲ上納セントスルトキハ第二項ノ順序ニ依リ代金ノ納入ヲ了シタル後其領收  
證書ヲ間稅署ニ持參シ保管證書ノ下戻ヲ請フヘシ

第壹號書式中「(賣下)  
(延納御聞届相成候ニ付御渡)」トアルヲ「賣下(代金延納願御聞届ノ上印紙類御渡)」  
ト改ム

第四號書式中「公債証書抵當トシ代金延納証」トアルヲ「抵當公債証書付證書」ト改ム  
第七號書式別紙ノ通改ム  
(第七號)

明治何年何月中受拂高表

種目	受拂區別		賣捌人ヨ リ受高	賣捌高	交換願高	買戻願高	差引發高
	越	高受					
證券印紙	枚數	額面金					
約束手形用紙	全	全					
爲換手形用紙	全	全					

煙草印紙	賣藥印紙	訴訟用印紙	登記印紙	計
全	全	全	全	全

一越高トハ前月ヨリ當月へ越ユル高ヲ云フ  
 一受高ノ欄ニハ請求高、交換願受高ヲ賣捌人ヨリ受高ノ欄ニハ賣捌人ヨリ交換受高、買戻高ヲ賣捌高ノ欄ニハ賣捌人へ交換渡高ヲ併記スヘシ  
 右之通候也

年月日

富山縣知事宛

富山縣印紙類元賣捌人

何 某印

### ●煙草

●縣令第五十四號 明治二十六年九月二十九日

明治二十二年一月縣令第十二號煙草稅則心得及ヒ明治二十三年九月縣令第四十三號酒造營業人心得中  
 左ノ通り追加更正ス

#### 煙草稅則心得

第一條ニ左ノ二項ヲ追加ス

製造營業人ハ有價證券ヲ抵當トシ證約ヲナサントスルトキハ保管金取扱規程ニ依リ其地ノ金庫ニ寄託シ其保管證書ヲ證約狀ニ添付スヘシ

前項有價證券ノ拂戻ヲ請求セントスルトキハ保管證書ノ下戻ヲ請フヘシ

#### 酒造營業人心得

第三項中第二ヲ削除シ左ノ通り追加ス

稅則第一條二項ニ依リ保證物トシテ差出ス不動産ハ登記法第二十一條ニ依リ登記ヲ受ケ有價證券ハ保管金取扱規程ニ依リ其地ノ金庫ニ寄託シ其保管證書ヲ差出スヘシ

保證物ノ内有價證券ノ拂戻ヲ請求セントスルトキハ保管證書ノ下戻ヲ請フヘシ

第五號式中(保證物件不動産外ノモノハ現品相添差出候間)トアルヲ(保證物トシテ差出候間)ト改ム

第十二號式中區分欄内「食賣」トアルヲ「卸賣」ト改ム

▲縣令第五十四號參照

縣令第十二號煙草稅則心得 (明治二十二年一月二十五日)抄錄

第一條 煙草稅則第二條ノ願書ニハ製造營業人ハ稅則施行細則第一條ニ依リ第一號第二號書式ノ届書及ヒ證約狀ヲ添付シ仲買營業人ハ稅則施行細則第一條ニ依リ第一號書式ノ届書ヲ添付スヘシ (本條ハ二十三年二月二十八日) (縣令第十四號ヲ以テ更正ス)

縣令第四十三號酒造營業人心得 (明治二十三年九月十二日)抄錄

第三項 稅則第一條二項ノ保證人ハ第三號式ニ保證物ハ第四號式ノ保證書ヲ作り施行細則第一條二項ニ依リ第五號式ノ願書ヲ添へ營業出願ノ際差出スヘシ  
稅則第一條二項ニ依リ保證物トシテ差出シタル不動産ニハ登記法第二十一條ニ依リ登記ヲ受クヘシ

●酒類

●縣令第四十三號 明治二十六年六月三十日

酒精營業稅法ニ關スル心得左ノ通相定ム

酒精營業稅法ニ關スル心得

第一條 稅法施行細則第一條第三條ノ願書等ハ第一號第二號第三號式ニ據ルヘシ

第二條 稅法施行細則第五條ノ戶外ニ掲出スヘキ標札ハ第四號式ニ據ルヘシ

第三條 稅法施行細則第六條ノ届書ハ第五號第六號式ニ據ルヘシ

第四條 稅法施行細則第七條第一項ノ帳簿ハ第七號乃至第十號式同條第二項ノ帳簿ハ第十一號式ニ據ルヘシ

第五條 勅令第五十八號 廿六年五月 第七條ノ帳簿ハ第十二號式ニ據ルヘシ

第六條 稅法施行細則第九條ノ届書ハ第十三號式ニ據ルヘシ

第七條 酒精營業稅法ニ關スル諸帳簿ハ毎年之ヲ調製スヘシ

第八條 稅法施行細則第十二條ノ仕切書請取書送狀等ハ受領ノ順序ニ據リ番號ヲ附記スヘシ

第九條 酒精營業人不在又ハ事故アルトキハ正當代人ヲ置キ稅法ニ關スル諸般ノ事ヲ辨セシムヘシ

酒精營業人未了年其他事故アリ後見人ヲ置ク場合ニシテ其後見人不在又ハ事故アルトキハ前項ト同シク代人ヲ置クヘシ

第十條 酒精營業人廢業ノ際酒精又ハ他物ト混合シタル酒精ヲ所持スルトキハ其石量及使用ノ目的ヲ届出ツヘシ

第十一條 酒精營業人酒精ヲ他物ニ混合セントスルトキハ混和以前其石量ヲ申出テ當該官吏ノ調

査ヲ受クヘシ

第十二條 酒精原料品及酒精并ニ諸器械建物等當該官吏調査セシトキハ其指示ニ從ヒ携帶スル調査簿ニ認印スヘシ

第十三條 税法及税法施行細則并ニ本心得ノ願届書等ハ郡市役所町村役場ヲ經由セス直ニ所轄關稅分署ヘ差出スヘシ

(第一號)

消印

酒精營業願

登記印紙

國郡市町村大字町村番地

酒精營業場

一酒精販賣見込何石何斗何升

一免許鑑札料金何拾錢

右場所ニ於テ甲(乙)種酒精營業仕度候間別紙保證書(醫藥用ノ場合ハ「認許願」)相添此段相願候也

國郡市町村大字町村番地

年月日

何 某印

富山縣知事何某殿

備考

一鑑札書替再渡ニ要スル登記印紙ノ貼用及消印方ハ本例準スヘシ

(第二號)

保證書

一酒精何拾何石何斗何升

販賣見込石量

此營業税金何百何拾何圓ニ對スル保證物件左ノ如シ

一保證金何百何拾何圓

内譯

金何拾圓

現金

金何百何拾圓

何々公債證書

何々號 何番 何枚  
額面金 何百何拾圓

右明治二十六年四月二十日法律第十七號酒精營業税法第三條ニ據リ保證物トシテ前記ノ物件何地



本(支)金庫へ供託候ニ就テハ若シ營業稅納期限ニ完納セサル時ハ管應ニ於テ(現金ヲ以テ供託シタル場合ハ)該金員ヲ(國債證券大藏省證券ヲ以テ供託シタル場合ハ)該物件ヲ直ニ公賣或ハ便宜ノ方法ヲ以テ賣却セラレ)税金ニ充テラル、モ聊カ異議無之別紙第何號供託物受領書添付確實ヲ證スル爲メ記名調印致候也

國郡市町村大字町村番地

年月日

何 某印

富山縣知事何某殿

備考

一販賣高増石ノ時ハ本例ニ準シ調製スヘシ

一記名公債證書ヲ供託シタルトキハ賣却委任狀ヲ添付スヘシ

(第三號)

保證物減額届

一販賣見込減石酒精何石何斗何升

此税金何百何拾何圓ニ對スル下戻請求保證物件左ノ如シ

一保證金何百何拾何圓

減額高

内 際

金何拾何圓

現 金

金何百何拾何圓

何々公債證書

何々號何番何枚  
額面金何百何圓

右酒精販賣見込減石仕候ニ就テハ前記之通り保證物件減額致度此段及御届候也

國郡市町村大字町村番地

甲(乙)種營業人

年月日

何 某印

富山縣知事何某殿

(第四號)

免許鑑札記載ノ番號

第何號 (醫藥用)  
酒精營業免許

國郡市町村大字町村番地  
甲(乙)種營業人 何

某

木製 堅巾曲尺  
三尺  
横巾曲尺 八寸

(第五號)

諸器械容器類目錄

免許證札番號	酒精營業場	營業人氏名
第何號	國郡市町村大字町村番地	何某
種目番號	深サ	全石數
號第何號	何尺何寸何分	何斗何升何合何勺
一何々	何個	
一、		

右及御届候也

年月日

富山縣知事何某殿

國郡市町村大字町村番地

甲(乙)種營業人何

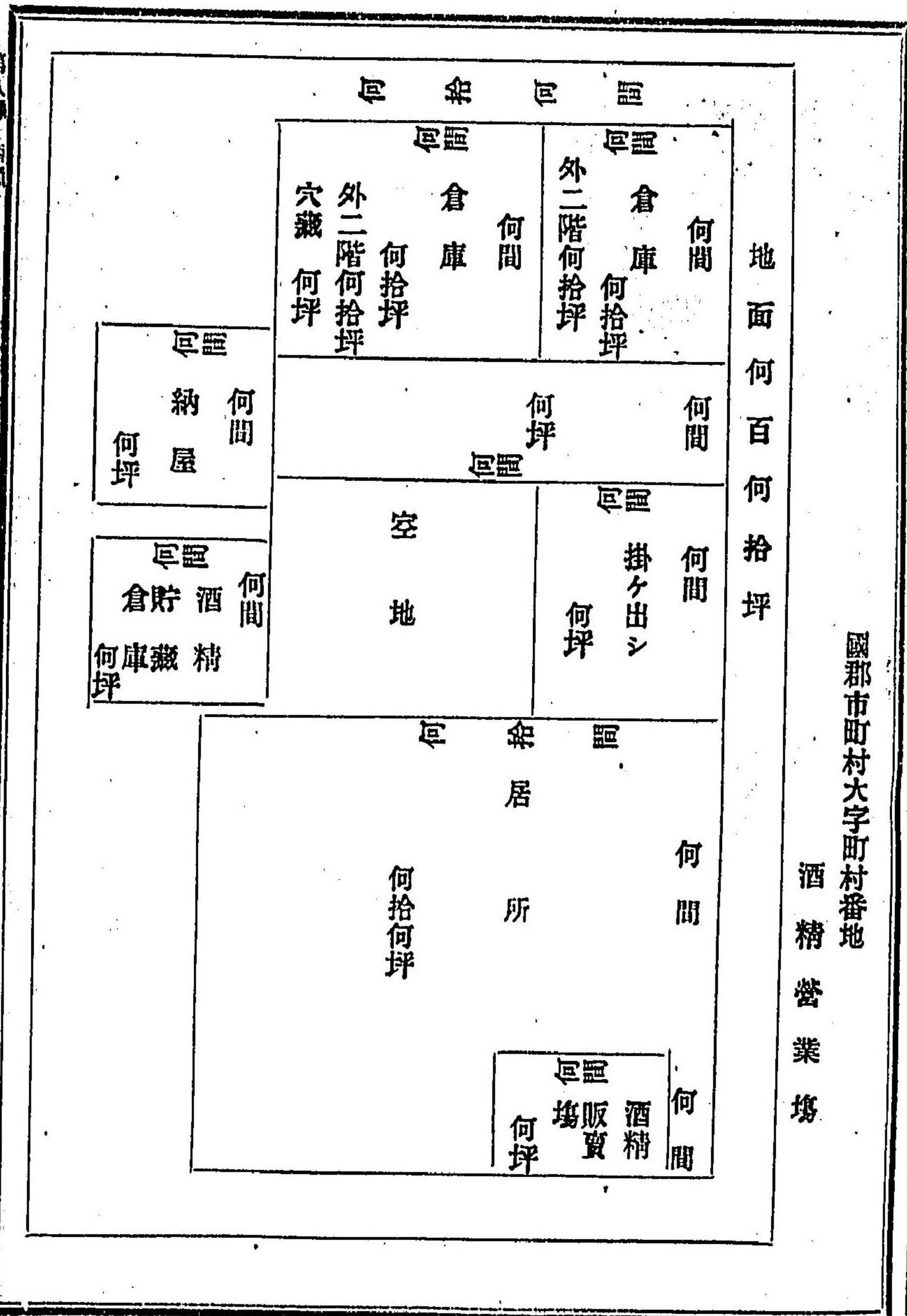
某印

備考

一容器ニハ番號ヲ附記スヘシ又増減變更ノ場合ハ本例ニ準スヘシ

(第六號)

地所建物坪數取訓圖面



右之通りニ候也

年月日

富山縣知事何某殿

何 某印

國郡市町村大字町村番地

備考

- 一 酒精營業ニ用ユル建物等ハ朱線ヲ以テ其分界ヲ明瞭ナラシムヘシ
- 一 二階穴藏ノ類ハ張掛又ハ外書ニ記載ヘスシ
- 一 附屬場所ノ圖面及増減變更ノ場合ハ本例ニ準スヘシ

(第七號)

明治何年何月何日

免許鑑札番號

酒精製造帳

國郡市町村大字町村番地

甲(乙)種營業人 何 某

混和順號

原料品目

混和石量

同上月日

混和酒精石量

同上度数

總石量

同上度数

第何號第何號

第何號第何號

越一月一日

何斗何升

四〇、一〇

何斗何升

二〇、五〇

第一號

何々

何斗何升

何月何日

何斗何升

何斗何升

何斗何升

何斗何升

第二號

何々

何斗何升

何月何日

何斗何升

何斗何升

何斗何升

何斗何升

第三號

何々

何斗何升

何月何日

何斗何升

何斗何升

何斗何升

何斗何升

以下倣之

備考

一「メートル」ハ「アルコールメートル」ヲ用ユヘシ

一「二个月毎ニ小計ヲ付シ二个月以上ヨリハ通計ヲ付スヘシ以下諸帳簿又同シ

(第八號)

明治何年何月何日

免許鑑札番號

酒精製造原料品買入及遣拂帳

國郡市町村大字町村番地

甲(乙)種營業人 何 某

受之部

買入月日	原料品目	同上石量	買入先住所職業氏名
越一月一日	々	何斗何升	
何何	、	、	國郡市町村大字町村番地
、	、	、	何業何
、	、	、	某

以下倣之  
拂之部

遣拂月日	原料品目	同上石量
何月何日	々	何程
、	、	、
、	、	、
、	、	、

以下倣之

備考

一受及拂ノ部ハ口分トシ記載スヘシ

(第九號)

明治何年何月何日  
免許證札番號  
酒精買入帳

酒精ノ部

國郡市町村大字町村番地  
甲(乙)種營業人 何 某

買入順號	買入月日	容器番號	平均度數	酒精石量	買入先住所職業氏名
第何號第何號 第何號第何號	一月一日越高	第何號第何號 第何號第何號	四〇、一〇	何石何斗何升何合	國郡市町村大字町村番地
第一號	何月何日	第何號第何號	、	、	何業何
第二號	、	、	、	、	某
第三號	、	、	、	、	、

以下倣之

混和酒精ノ部

買入順號	買入月日	種目	容器番號	買入石量	混和酒精石量	平均度數	買入先住所職業氏名
------	------	----	------	------	--------	------	-----------

第何號第何號	一月一日越高	何々々	第何號	何石何斗	何程	二〇、一〇
第一號	何月何日	、	第何號	、	、	、
第二號	、	、	、	、	、	、
第三號	、	、	、	、	、	、

國郡市町村大字町村番地  
何業何某

以下倣之

備考

一買入番號ハ仕切書請取書送狀等ノ番號ヲ移記スヘシ

一酒精及混和酒精ノ部ハ口分トシ記載スヘシ

一「メートル」ハ「アルコールメートル」ヲ用ユヘシ

(第十號)

明治何年何月何日

免許鑑札番號

酒精賣上帳

國郡市町村大字町村番地

甲(乙)種營業人何

某

酒精ノ部

賣渡月日

賣渡石量

同上代價

買受人住所職業

氏名

何月何日

何程

何拾何圓何拾何錢

國郡市町村大字町村番地

何某

以下倣之

混和酒精ノ部

順號

賣渡月日

混和酒精石量

全上代價

買受人住所職業 氏名

製第一號

何月何日

何程

何拾何圓何拾何錢

國郡市町村大字町村番地

何業何某

買第一號

何石何斗何升

何程

何拾何圓何拾何錢

國郡市町村大字町村番地

何業何某

皆排

以下倣之

備考

一工業用酒精及混和酒精ハ口分トシ記載スヘシ

一乙種營業人(醫藥用販賣者ヲ除ク)ハ買受人住所氏名ノ記載ヲ要セス

(第十一號)

明治何年何月何日

酒精買入及使用帳

國郡市町村大字町村番地

何 某

買入ノ部

買入順號	買入月日	全上石量	平均度數	代價	買入先住所職業氏名
何號何號 何號何號	越一月一日 高	何石何斗	三五〇〇	何拾何圓何拾錢	國郡市町村大字町村番地 何業何 某
第一號	何月何日	、	四〇、〇〇	何拾何圓何拾錢	、
第二號	、	、	、	、	、
第三號	、	、	、	、	、

以下倣之

使用之部

使用月日	全上石量	使用月日	全上石量
何月何日	何程		
、	、		
、	、		
、	、		

以下倣之

備考

一買入番號ハ仕切請取書送狀等ノ番號ヲ移記スヘシ

一買入及使用ノ部ハ口分トシ尙ホ醫藥用工業用ニ使用セントキハ口分トシ記載スヘシ

一混和酒精ヲ買入使用シタルトキハ其混和セシ酒精石量ヲ記載スヘシ

一「メートル」ハ「アルコールメートル」ヲ用ユヘシ

(第十二號)

明治何年何月何日

醫藥用酒精買入及販賣帳

國郡市町村大字町村番地

何業 何 某

買入之部

買入月日	同上石量	代	價	買入先住所職業氏名
越一月一日	何石何斗			
何月何日	、 、 、 、 、 、	何拾何圓何拾錢		國郡市町村大字町村番地 何業 何 某
、 、 、 、 、 、	、 、 、 、 、 、	、 、 、 、 、 、		、 、 、 、 、 、
、 、 、 、 、 、	、 、 、 、 、 、	、 、 、 、 、 、		、 、 、 、 、 、

以下倣之  
販賣之部

賣渡月日	同上石量	代	價	買受人住所氏名
何月何日	何程何圓何拾何錢			國郡市町村大字町村番地 何 某

、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、

備考 以下倣之

一買入及賣渡ノ部ハ口分トシ記載スヘシ

(第十三號)

酒精販賣(消費)石量届

一酒 精 何拾何石何斗何升何合何夕

營業税金何百何拾何圓何拾何錢何厘

右明治何年何月何日ヨリ同年何月何日迄販賣(消費)致候ニ付此段及御届候也

國郡市町村大字町村番地

甲(乙)種營業人 何 某印

(又ハ) 何 某印

備考 富山縣知事何某殿

一税法施行細則第九條第二項ノ届書ハ本例ニ準スヘシ

●第九類

●會計

●訓令第十八號 明治二十六年三月二十一日

郡役所 町村役場

町村歳入出調理規程並ニ諸様式左ノ通相定メ明治二十六年度ヨリ施行ス

町村歳入出調理規程

第一條 町村歳入ノ徵收ハ豫メ賦課令狀(書式第十四號)若クハ收入告知書(書式第十五號)ヲ各納人ニ配付スヘシ

第二條 收入役ニ於テ收入金ヲ受領シタルトキハ同時ニ賦課令狀若クハ收入告知書ヲ出サシメ相當手續ヲ爲シ押印ノ上之ヲ切離シ領收證ハ納人ニ交付シ而シテ收入告知書(書式第十六號)ヲ作リ之ニ賦課令狀若クハ收入告知書ヲ添付シテ町村長ニ送付スヘシ

第三條 町村長ニ於テ收入通知書ヲ受ケタルトキハ直ニ賦課臺帳ニ照合シ其通知書ニ收入命令ヲ付記シテ之ヲ收入役ニ還付スヘシ

第四條 町村歳出ハ正當受取人ヨリ請求書(書式第十七號)ヲ出サシメ其請求書ノ右傍ニ支出命令ヲ記入スヘシ收入役ニ於テ之ヲ拂渡シタルトキハ左傍ニ領收ノ旨ヲ記シ且記名押印セシメ之ヲ領收證トナスヘシ

第五條 凡ソ町村役場ニ備フヘキ帳簿ハ左ノ如シ

- 一 町村收支簿 (書式第一號)
- 一 町村税賦課臺帳 (書式第二號)
- 一 授業料徵收臺帳 (書式第三號)
- 一 督促手數料徵收臺帳 (書式第四號)
- 一 納税延期明細表 (書式第五號)
- 一 町村税月割還付明細帳 (書式第六號)
- 一 消耗品受拂簿 (書式第七號)
- 一 寄附物件臺帳 (書式第八號)
- 一 貸金利子徵收臺帳 (書式第九號)
- 一 小作米金徵收臺帳 (書式第十號)
- 一 基本財産臺帳 (書式第十一號)
- 一 町村有財産臺帳 (全 上)
- 一 備品臺帳 (書式第十二號)
- 一 公債臺帳 (書式第十三號)



第六條 帳簿及證憑書中ノ文字ハ改竄塗抹スヘカラス其誤記シタルモノハ其上ニ朱ヲ以テ二線ヲ  
 畫シ之ニ檢印シ右傍ニ正書スヘシ  
 金錢出納ニ關スル證憑書類ニ記入スル一二三十ノ字ハ壹貳參拾ヲ用ヒ厘ノ字ハ正シク之ヲ記ス  
 ヘシ

第七條 領收證賦課令狀及收入告知書ハ各目毎ニ編綴保存スヘシ

第八條 町村組合若クハ町村局部ノ會計モ此ノ規程ニ依ル  
 (書式第一號)

明治何年度収支簿

何町(村)役場

歳入總額		月日	摘要	豫算額	収入額	差引未収
十二月五日	收	入	本年度豫算額	二、五五二、五〇〇		
全	六日	收	入		三〇一〇五	二、五二二、三九五
全	二十日	收	入		一五一〇	二、五二〇、八八五
全	二十日	收	入		九九二〇〇	二、四二一、六八五

財産目録		月日	摘要	豫算額	収入額	差引未収
地	貸	十二月五日	本年度豫算額	一五〇〇〇〇		
料	地	十二月五日	某所宅地貸與料何年分某納		五五〇〇	一四四、五〇〇

財産目録		月日	摘要	豫算額	収入額	差引未収
建物	貸	十二月五日	本年度豫算額	五〇〇〇〇		
料	與	十二月五日	某建物貸與料何年分某納		三七五〇	四六二、五〇〇

財産目録		月日	摘要	豫算額	収入額	差引未収
貸付	金	十二月五日	本年度豫算額	三〇〇〇〇		
子	利	十二月五日	元金何圓ニ對スル何月分利子某納		一二三五五	一七六、四五〇

財源		日小		生作		入米	
月	日	摘要	豫算額	收入額	差引未収	月	日
	十二月五日	本年度豫算額 某所田小作米代金 某納	二五五〇〇	八五〇〇	一七〇〇〇		

使川及手數料		督促手數料		月日	
月	日	摘要	豫算額	收入額	差引未収
	十二月六日	本年度豫算額 督促手數料某外何 名納	三〇〇〇	一六〇	二八四〇

雜業		授業		入料		月日	
月	日	摘要	豫算額	收入額	差引未収	月	日
	十二月六日	本年度豫算額 授業料何月分某外 何名納	三三〇〇	一三五〇	三二六五〇		

町地		村價		稅割		月日	
月	日	摘要	豫算額	收入額	差引未収	月	日
	十二月三日	本年度豫算額 地價割第何期某外 何名納	一〇五三二二〇	六五七五〇	九八七三七〇		
	全二十三日	十二月二十三日 村會議決豫算變更	一〇〇二二二〇		九三六三七〇		

町營		村業		稅割		月日	
月	日	摘要	豫算額	收入額	差引未収	月	日
	十二月二十日	本年度豫算額 營業割第何期某外 何名納	二五六〇〇〇	七八〇〇	二四八二〇〇		

町戶		村數		稅割		月日	
月	日	摘要	豫算額	收入額	差引未収	月	日
	十二月二十日	本年度豫算額 戶數割第何期何某 外何名納	五四八四一〇	二五六五〇	五二二七六〇		
	十二月廿三日	十二月二十三日 村會議決豫算變更	五九八四一〇		五七二七六〇		

役場費給			役場費給			役場費給			歳出總額					
月日	摘要	豫算額	支出額	差引殘高	月日	摘要	豫算額	支出額	差引殘高	月日	摘要	豫算額	支出額	差引殘高
十二月二十日	本年度豫算額	三五〇〇〇			十二月二十日	何月分給料書記某渡		一〇〇〇〇	三四〇〇〇	十二月五日	本年度豫算額	二、〇五三、〇〇〇		
十二月二十三日	役場費雜給旅費(金三十拾圓流用)			四七九〇〇	十二月二十三日	會議決三十拾圓役場費雜給旅費へ流用	三二〇〇〇		三一〇〇〇	十二月六日	支拂高		一一五〇〇	二、〇三五、八〇〇
										十二月二十日	支拂高		一六〇〇〇	二、〇一九、八〇〇

役場費給			役場費給			役場費給								
月日	摘要	豫算額	支出額	差引殘高	月日	摘要	豫算額	支出額	差引殘高	月日	摘要	豫算額	支出額	差引殘高
十二月二十日	本年度豫算額	一五〇〇〇			十二月二十日	何月分給料雇員某渡		六〇〇〇	一四四〇〇	十二月五日	本年度豫算額	七五〇〇〇		
十二月二十三日	役場費給料ヨリ旅費へ金三十拾圓流用			一〇二五〇〇	十二月二十三日	會議決三十拾圓役場費雜給旅費へ流用	三二〇〇〇		三一〇〇〇	十二月二十三日	支拂高		二五〇〇	七二五〇〇

役場		役場		役場	
用品備		費用需		旅	
月	日	月	日	月	日
十二月六日	本年 度 預 算 額	十二月五日	本年 度 預 算 額	十二月五日	本年 度 預 算 額
	六五〇〇〇		一五五〇〇〇		五〇〇〇〇
	支出額		支出額		支出額
	六五〇〇		三二〇〇		二五〇〇
	差引殘高		一五一八〇〇		四七五〇〇
	五八五〇〇		一四〇三〇〇		七七五〇〇

臨時		臨時		役場	
土木費		土木費		消耗品費	
月	日	月	日	月	日
十二月廿一日	本年 度 預 算 額	十二月廿一日	本年 度 預 算 額	十二月五日	本年 度 預 算 額
	二五〇〇〇〇		一五〇〇〇〇		八〇〇〇〇
	支出額		支出額		支出額
	五五〇〇〇		一五〇〇〇〇		三二〇〇
	差引殘高		差引殘高		差引殘高
	一九五〇〇〇		—		七六八〇〇

収 入 差 引 残

月 日	収 入 金 額	通 計	支 出 金 額	通 計	差 引 残
四月一日	一〇五,〇〇〇	一〇五,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	八五,〇〇〇
四月二日	一一,〇〇〇	一一七,〇〇〇	一五,〇〇〇	三五,〇〇〇	八二,〇〇〇
四月三日	五〇,〇〇〇	一六七,〇〇〇	一,〇〇〇	三六,〇〇〇	一三二,〇〇〇
四月四日	二〇,〇〇〇	一八七,〇〇〇	—	三六,〇〇〇	一五一,〇〇〇
四月五日	三六,〇〇〇	二二三,〇〇〇	一〇,〇〇〇	四六,〇〇〇	一七七,〇〇〇
四月六日	三〇,〇〇〇	二五三,〇〇〇	三〇,〇〇〇	七六,〇〇〇	一七七,〇〇〇
以下右ニ依リ順記スヘシ					
右例月検査ヲ爲シタルニ不都合ナシト認ム					
明治何年何月何日			検査人	町村長 何某	印

記載例

一本簿ハ豫算ノ目ナキモノハ項、毎ニ口座ヲ設ケ日々ノ實収支ヲ記入スルモノトス  
 目ナキモノハ項、目ナキモノハ款

一 豫算科目ナキ一時ノ借入金若クハ繰替金等ノ如キハ相當口座ヲ設ケ出納ヲ記入スルモノトス  
 一 大町村ニ在テハ歳入部歳出部ヲ各別ニ調製スルモ妨ケナシ  
 (書式第二號)

何 年 度

町村税何割賦課臺帳

何 町 村 役 場

一金何程	明治何年度町(村)税(地價割)總額
本 税 額	
地租壹圓ニ付	
區 別	額
第一期	金
令 狀 發 付 納 期	月 日

番號	稅額	第何號				納稅者
		第 四 期 金	第 三 期 金	第 二 期 金	第 一 期 金	
第 號	金	第 三 期	第 一 期	第 三 期	第 一 期	領收證下割印 金何程印 收入役印 明治何年何月何日收入
		金	金	金	金	
第 號	金	第 四 期	第 二 期	第 四 期	第 二 期	大字何町村 何郡市何町村大字何 町村何某
第 號	金	金	金	金	金	

記載例

一各町村税賦課臺帳ノ起頭ニ式ノ如ク一年度課税總額一覽表ヲ添付スヘシ  
 (書式第三號)

何年度  
 授業料徴収臺帳

何町村役場

何程	何月何日何月何日 收入 役認印	料一個月額												納稅者		
		四月分	五月分	六月分	七月分	八月分	九月份	十月分	十一月分	十二月分	一月分	二月分	三月分			
何某	○															大字何町村 何某

(書式第四號)

何年度  
督促手數料徴収票帳

何町村役場

金 額	督促月日	金額	督促月日	金額	氏 名
	額取月日	〃	額取月日	〃	
金 〇 何程	何月何日	金	月月日		何 某
收入役印					

(書式第五號)

何年度  
納稅延期明細帳

何町村役場

一金  
納稅額  
住所  
何郡市何町村大字何町村  
氏名  
何某

科目	金額	實	收	何日	二月日	金額	額	記事
地租割						〇		
營業割						領收證下割印		
戸數割						收入役認印		
何々								

(書式第六號)

何年度  
町村稅月割還付明細帳

何町村役場

第何號	戶別割	金何程	○	何月迄徴収ノ處何月當町村退去ニ付何々月分月割ヲ以テ還付ス	何某
番臺帳	税目	還付額	事	由	氏名

(書式第七號)

何年度

消耗品受拂簿

何町村役場

八寸		月日	摘要	受高	渡高	受取人證	殘高
何月何日	何某ヨリ買入		前年度ヨリ越高	千五百二拾枚			
	常用トシテ書記			貳千枚			
	何某へ渡				貳百枚	○	

紙

計

三千五百貳拾枚

貳百枚

三千三百貳拾枚

記載例

(書式第八號)

何年度

寄附物件臺帳

何町村役場

寄附目的		金何程 (何々何程)		寄付者住所氏名		何郡市何町村何某	
員額	員額	員額	員額	納付期限			
何月何日	何月何日	何月何日	何月何日				
金何程	○	收入役認印					
何日	何月	何日	何月	日	月	日	月



收 日期 日期 日期 日期

(書式第九號)

領收書ト割印

貸金 利子 徵收 臺帳

何町村役場

貸付又ハ  
預金額

金 何程

借人又ハ  
預リ人  
住所氏名

何郡市何町村大字何町村何番地  
何 某

抵當

何々何程

保證人  
住所氏名

利子歩合

元金百圓ニ付一十年(一ヶ月)何程

期 利子納入

貸付又ハ  
預年月日

明治何年何月何日

返濟期限

元金(全額)  
又ハ内納額

年 月 日

利子収入額

利付年月數 收入年月日

金 ○收入役認  
印

明治何年何月何日

金 何程 ○

何年何月ヨリ何月  
迄何年月間

明治何年何月何日

領收書ト割印

領收書ト割印

收入役認印

(書式第十號)

小作米 金 徵收 臺帳

何町村役場

何町村大字何町村何番  
字何  
一田何反何畝何歩

小作人  
住所  
氏名

何町村大字何町村何番地  
何 某

小作 期 限

小作米ノ割合

小作米納期

記

事

明治何年何月ヨリ  
何年何月マテ

壹歩ニ付米何合

毎年何月何日限リ

小作米 收 納

明治 何年

納 額 領收

米 何程 ○ 何月 何日

領收證ト割印 收入役認印

(書式第十一號)

基本財産臺帳

(町村有財産臺帳ニ依ル)

何町村役場

備	起 因	購 入 價 格	元 價	數 量	所 在	名 目

考

(書式第十二號)

備品臺帳

何町村役場

品 名	個 數	元 價	買 入 年 月 日	所 在	備 考

(書式第十三號)

公債臺帳

何町村役場

(書式第十四號)

賦課令狀

金何程	公債元額	債主住所 氏名	何縣何郡市何町(村)何番地	某
利子歩合	元金百圓ニ付一(个月)一(个月)	元利償還期限	每年四月三十日十一月三十日兩度ニ償還	
備考				
元金償還額	年月日	利子償還額	利付年月數	償還年月日
金何程	明治何年何月何日	金何程	何年何月ヨリ 何月迄何年月間	明治何年何月何日

町 第 何 號  
賦課令狀

明治何年度第何期(前後期)(何月分) 納入 大字何々 何 某

一金何程 (地租割)(何々割)(何々税)  
明治何年何月何日限リ當町(村)收入役へ納入スヘシ

役場 割印  
明治何年何月何日 何町(村)長 何 某印

(書式第十五號)

賦課臺帳割印

町 割(村)印 稅	第 何 號	明治何年度第何期(前後期)(何月分) 納入 大字何々 何 某
第 何 價	一金何程	(地租割)(何々割)(何々税)
號 證	明治何年何月何日	何町(村)收入役 何 某印

役場 割印  
明治何年何月何日 何町(村)長 何 某印

收入告知書

一金 (明治何年度分) (自明治何年何月何月何月分) 納入

明治何年何月何日限リ當町(村)收入役へ納入スヘシ

何町(村)長 何 某印

(小作米代金)(貸付金利子)(何々「使用料」手数料)

明治何年何月何日限リ當町(村)收入役へ納入スヘシ

證	印	割	領
一金			
明治 年 月 日			
何町(村)収入役 何 某 印			

(書式第十六號)

徴收臺帳下割印

右収入ヲ命ス ○	書 知 通 入 収		
	種 目	年 度	目 款
金 何 程 ○	明治何年何月何日 受領 何月何日 収支簿記入		
收入役ノ印	納 人	何	某
	(外 何 名)		
命令者ノ印			

凡例 種目ノ欄ニハ全町村、大字何町村、何町村組合ノ區別ヲ記スヘシ  
(書式第十七號)

支出命令 剛 明治何年何月何日發付 何月何日收支簿記入  
種 目 年 度 款 項 目

請求書

一金 何程 何郡何町村大字何町村 何 某 印

品 目	數	量 單	價

右金員領收候也

明治何年何月何日

右

何 某 印

何町村収入役何某殿

凡例 品名數量單價ノ式ニ適セサルモノハ但書ニ替ヘ詳記スヘシ

●訓令第二十八號 明治二十六年三月二十八日 縣立學校 同校在勤 出納吏  
 明治二十三年<sup>十月</sup>法律第九十一號第十六條第二項ノ納金并明治二十六年<sup>三月</sup>縣令第十九號第十  
 八條ノ納金収入方ハ明治二十六年度ヨリ左ノ通取扱フヘシ  
 一明治二十三年法律第九十一號第十六條第一項ニ依リ尋常師範學校ノ正教員及尋常中學校長正教  
 員ヨリ國庫ニ納ムヘキ金員并明治二十六年縣令第十九號第十八條ニ依リ尋常師範學校及尋常中  
 學校ノ書記ヨリ縣廳ニ納ムヘキ金員ハ各俸給仕拂ノ時當該校ノ出納吏ニ於テ之ヲ差引スヘシ  
 一前項ニ依リ差引シタル金員ハ即日當該校ノ出納吏ヨリ校長正教員ニ係ル分ハ第一號書式ニ依リ  
 仕譯書ニ現金ヲ添ヘ當廳収入官吏ニ納付シ書記ニ係ル分ハ明治二十四年本縣訓令第四十六號地  
 方稅雜收入收納規程第一條但書ニ準據シ收納方取扱フヘシ  
 一明治二十三年法律第九十一號第十六條第二項ニ依リ尋常師範學校及尋常中學校長正教員ニ係ル  
 地方稅ヨリ國庫ニ納ムヘキ金員ハ第二號書式ニ依リ每年四月三日及十月三日マテニ其前六個月  
 分ヲ報告シ當廳ヨリ發行スヘキ納入告知書ニ現金ヲ添ヘ當該校ノ出納吏ヨリ該告知書ニ指定シ  
 タル期日マテニ之ヲ富山本金庫ニ拂込ムヘシ

(第一號)

記

一金 何程

但明治何年何月分本校(長)正教員退職料及遺族扶助料法納金別紙仕譯書ノ通現金相添右納付  
 候也

年 日月

何學校出納吏

職氏 名印

富山縣廳収入官吏

官氏名宛

尋常師範學校正教員(縣立尋常中學校長正教員)退職料及遺族扶助料法納金仕譯書

一金 何程 師 仕拂命令者ノ印

納金額

但明治何年何月分左記内譯ノ通

納人職氏名	月 俸 額	月俸支給額	摘 要	納 金 額
校長 何 某	何 程	何 程	何月何日何々ニ付日割 支給	何 程
教諭 何 某	何 程	何 程	、	何 程
助教諭 何 某	何 程	何 程	、	何 程
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、

右之通候也

年月日

何學校出納吏  
職氏 名印

(第貳號)

尋常師範學校長正教員(縣立尋常中學校長正教員)ニ係ル退隱料及遺族扶助料法納金報告  
一金 何程 ① 仕拂命令者ノ印 納金額

但明治何年 自何月 六個月分左記内詳ノ通  
至何月

納金額	月	俸額	支給額	摘要	人名
何程	何	何	何	何月何日拜命ニ付何ヶ月ト日割何日分	校長 何某分
何程	何	何	何		教諭 何某分
何程	何	何	何		助教諭 何某分
、	、	、	、		、
、	、	、	、		、
、	、	、	、		、
、	、	、	、		、
、	、	、	、		、

右報告候也

何學校出納吏

年月日

職氏 名印

縣知事宛

●訓令第四十一號 明治二十六年四月十四日

郡役所 警察署

明治二十四年三月三訓令第四十七號物品會計規則第四條ニ左ノ通追加ス

縣立學校

第四條中第四課長ノ下ニ「次席者」ノ三字ヲ追加ス

▲訓令第四十一號參照

訓令第四十七號物品會計規則(明治二十四年三月二十三日)抄錄

第四條 本廳ハ内務部及警察部ニ屬スルモノハ第四課長監獄署ニ屬スルモノハ庶務課長郡役所

ハ會計ヲ掌ル首席郡書記警察署ハ内勤警部縣立學校ハ首席書記ヲ以テ物品出納吏トス

●訓令第四十九號 明治二十六年四月二十八日

郡役所

明治二十四年七月訓令第三百三十號郡役所經費支出證明方第三條末項ニ左ノ通追加ス

第三條

一 概算拂ノ精算ニ至ラス概算支出ニ係ル領収證書提出能ハサルモノハ第四號ノ概算拂仕譯書差  
出スヘシ

(第四號書式)

明治何年度何月中旅費概算拂仕譯書

仕 拂 日	金 員	精算未済ノ事由	官 姓 名
何月何日	金 何 程	何 々	
、 、 、 、	、 、 、 、	、	

(前月以前ノ概算拂ト雖モ精算未済ノ分ハ渾テ列記スヘシ)

通計金何程

(計算書外書ノ金額ニ符合スヘキモノナリ)

右之通り候也

出 納 吏

年 月 日

富山縣知事宛

官 氏

名 印

●訓令第五十三號 明治二十六年五月五日

縣立學校 同校在勤 出 納 吏

明治二十六年三月訓令第二十八號第一項ニ依リ尋常師範學校ノ正教員及尋常中學校長正教員ニ係ル

國庫納金ヲ取扱フ當該校ノ出納吏ハ現金出納簿ヲ設置整理スヘシ

●訓令第六十二號 明治二十六年五月二十六日

郡市役所

徴兵費豫算額内ヲ以テ購入スル徴兵検査所用物品購入及修繕ノコトヲ郡市長ニ委任候條物品ヲ購入又ハ修繕ヲ爲シダルトキハ其時々品目員數等ハ物品會計官吏へ報告シ代價支拂方ノ儀ハ請求書ヲ徴シ請求スヘシ

但報告書式ハ第一號第二號ニ請求書式ハ第三號ニ據ルヘシ  
(第一號書式)

購入備品(消耗品)報告書

品 目	數	量	一個ノ代	代價合計	物品購入月日
何 品 何	個	何	程	何 程	何 月 何 日
、 、 、 、	、 、 、 、	、 、 、 、	、 、 、 、	、 、 、 、	、 、 、 、

右徴兵検査用物品前記ノ通購入候ニ付此段及報告候也

年 月 日

何郡市長 氏

名 印

物品會計官吏宛

(備品ト消耗品トハ各別ニ差出スヘシ)  
(第二號書式)

備品修繕濟報告書

品目	數量	一個修繕代	合計	物品修繕月日
何品何	個何	程何	程何	何月何日
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、

右徵兵検査用備品前記ノ通り修繕濟ニ付此段及報告候也

年月日

何郡市長 氏

名印

物品會計官吏宛

(第三號書式)

物品代請求書

一金何程

何郡何町村何番地

何

某印

内 譯

品目	數量	單價	價金	員
何品何	程何	程何	程何	程
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、

●訓令第六十三號 明治二十六年五月二十六日

郡市役所

明治二十三年二月二訓令第二十四號徵兵検査用物品取扱規程第七條第九條第十條第十二條第十三條ヲ  
削除シ第十一條ヲ左ノ通改正ス

第十一條 購入ニ係ル物品ヲ接受シタルトキハ備品ニ在テハ使用證書ヲ消耗品ニ在テハ領収證書  
ヲ調製其時々物品會計官吏ヘ差出スヘシ  
(但書元ノ如シ)

▲訓令第六十三號參照

訓令第二十四號徵兵検査用物品取扱規程(明治二十三年二月二十一日)抄錄

第七條 毀損ノ物品ニシテ修補ヲ加ヘ尙需用ニ耐ユル見込アルモノハ品目員數及修補費ヲ概定



シ知事ノ許可ヲ得テ修繕ヲ爲シ其旨報告スヘシ但報告書式ハ第三號ニ依ルヘシ

第九條 購入スヘキ物品ハ郡長又ハ市長ニ於テ取調豫メ品目員數及代價ヲ概定シ必要ノ事由ヲ具シ前以テ知事ノ許可ヲ得ルニテサレハ一切購入ヲ許サス

第十條 前條購入セシ物品ハ一个月分取纏メ翌月五日限り物品會計官吏ヘ報告スヘシ但報告書式ハ第六號第七號ニ依ルヘシ

第十一條 購入ニ係ル物品ハ取扱主任ニ於テ備品ニ在テハ使用證書消耗品ニ在テハ領收證書ヲ調製翌月五日限り差出スヘシ但領收證書式ハ第八號ニ依ルヘシ

第十二條 消耗品ハ取扱主任ニ於テ領收シ支消高精算ハ毎年檢査結了後十日以内ニ精算書ヲ差出スヘシ尤殘品アルトキハ翌年度ヘ繰越使用スヘシ但精算書式ハ第九號ニ依ルヘシ

第十三條 前條精算書ニハ各自ヘ交付セシ品目員數及使用者ノ領收印アル書類ヲ添付スヘシ  
●訓令第七十八號 明治二十六年七月七日 郡役所 警察署 縣立學校

明治二十四年三月訓令第四十七號物品會計規則第二十五條但書削除ス  
▲訓令第七十八號參照

訓令第四十八號物品會計規則(明治二十四年三月二十三日)抄錄  
第二十五條 不用物品及修補ヲ加ヘ難キ毀損物品ハ三ヶ月又ハ六ヶ月毎ニ之ヲ取纏メ賣却等ノ

處分ヲ爲スヘキモノトス

但委任ヲ受ケタル物品出納命令者所管ニ屬スルモノハ其命令者ヨリ處分方向出ツヘシ

●訓令第九十八號 明治二十六年九月二十二日 郡役所 町村役場

明治二十六年三月訓令第十九號町村會計檢査規程左ノ通改正ス

町村會計檢査規程

第一條 町村ノ會計檢査ハ毎月一日(休日ナルトキハ順次繰下ク)ヲ以テ例月檢査ノ定日トシ臨時檢査ハ毎年二回以上之ヲ行フヘキモノトス

第二條 臨時檢査ノ一回ハ必ス毎年三月四月ノ間ニ於テ之ヲ行フヘキモノトス

第三條 會計檢査ヲ行フトキハ其前日迄ノ出納ヲ收支簿收支ノ證據及ヒ現金ニ對照シテ檢査スヘシ其檢査事項ノ概目左ノ如シ

- 一 金錢出納簿其他諸帳簿ノ整否
- 二 證據書類ノ整否
- 三 收入支出ノ年度所屬ノ正否
- 四 收支命令ト出納ノ合否
- 五 支出費目ノ正否

六 費目流用ノ正否  
 七 豫算外及ヒ豫算超過ノ支出正否  
 八 命令後支拂滯滞ノ有無  
 九 基本財産其他共有金出納ノ正否  
 十 保證金及ヒ寄託金出納ノ正否  
 十一 公債證書其他金錢ニ關スル證書類保管ノ正否  
 十二 右ノ外検査人ニ於テ必要ト認ムル事項

第四條 検査ノ際不正當ト認ムル事項アルトキハ収入役ニ審理書ヲ發シテ答辨ヲ徵シ其事項輕易ナルモノハ日限ヲ期シテ正誤セシメ其由ヲ收支簿ニ記載スヘシ

第五條 會計検査ヲ終了シタルトキハ收支簿差引殘ノ部ニ左ノ書式ニ依リ其成績ヲ記入シ検査人署名捺印スヘシ但立會人ヲ要スルハ臨時検査ニ限ル

右例月(臨時)検査ヲ爲シタルニ不都合ナシト認ム(何々ハ何々ナルヲ以テ不都合ト認メ)(訂正)(何々スヘキコトヲ命ス)

年月日

検査人 町村長 何 某印  
 立會人 職 員 何 某印

立會人 職 員 何 某印

第六條 會計検査ヲ終ハリタルトキハ町村長ニ於テ第三條ノ各項ニ就キ其成績ヲ詳記シ審理書及ヒ答辨書アルモノハ其謄本ヲ添ヘ三日以内ニ郡長ニ報告スヘシ

▲訓令第九十八號參照

訓令第十九號(明治二十六年三月二十一日)ハ町村出納検査規程ナリ

●訓令 第二百二號 明治二十六年十月六日 郡市役所 町村役場

政府ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル金錢ニシテ是迄市町村長ヨリ預金局へ寄託セシ分ハ自今當該出納官吏ヨリ寄託セシムヘキ儀ト心得ヘシ

但客年 十二月 訓令第二百二十四號ハ取消ス

▲訓令第二百二號參照

訓令第二百二十四號(明治二十五年十二月十六日)從來市町村長ニ於テ保管セシ國稅滯納處分剩餘金行旅死亡人所持金漂流物公賣代等ノ現金ハ明治二十三年勅令第二號ニ據リ大藏省預金局ニ寄託スヘキモノニ付右ハ明治二十三年同省令第八號ニ準シ取扱フヘシ

但同省令書式中何應印トアルハ市役所町村役場印官氏名印トアルハ市町村長印ト心得ヘシ

●訓 第五三號 明治二十六年四月二十四日

明治二十五年四月訓第五三號其校備品定數定限左之通追加及刪除ス  
右訓令ス

尋常師範學校

品目	定數	摘要
カシテラ	一	廊下點燈用
角燈	一	全
平机	五〇	女子寄宿舍自習用
全	一〇	豫備
本箱	五〇	女子寄宿舍自習用
全	一〇	豫備
但シ以上追加分		
大卓 白木	七	女子生徒寄宿舍自習室用
白木 藤椅子	五〇	女子自習室用

但シ以上刪除分

●訓第一一五號 明治二十六年十月三日

直稅分署

明治二十五年六月訓第七七號物品出納處務順序第九條第二項及第四號書式中左ノ通更正ス  
右訓令ス

第九條二項

前項概算受ノ物品ハ翌年度五月十五日迄ニ式(第四號)ノ如ク一周年度分精算書ヲ調製差出シ年  
度末現在高ハ返納スヘシ

第四號書式中

何月分第二類物品精算書トアルヲ何年度分第二類物品精算書トシ前月越高ノ欄ヲ削リ本月受高  
ヲ本年度受高トシ本月拂高ヲ本年度拂高トシ翌月へ越高ヲ返納高ト更正ス

●訓第一一六號 明治二十六年十月三日

間稅分署

明治二十五年十月訓第九八號鑑札用品出納處順序第四條ヲ削除シ順次繰上ケトス  
右訓令ス

●富山縣訓第一三七號

明治二十六年十二月一日

收稅部

明治二十五年六月訓第七七號物品出納處務順序第七條、第九條、及第二號票左ノ通更正ス

第七條 消耗品中日常必要物品ノ種類及其一ヶ月使用定額ハ第二號票ニ規定ス  
 第九條 第七條定額受ノ物品ニシテ年度未現在スル者ハ返納スヘシ  
 第二號票

日常必要物品并ニ一ヶ月使用定額規定

種 類	單位	收 稅		富山收稅署	魚津收稅署	高岡收稅署	出町收稅署
		直稅	課稅				
八寸十二行系紙	枚	五〇〇	九〇〇	二,五〇〇	八〇〇	一,〇〇〇	一,五〇〇
八寸半枚系紙	全	一三〇	二五〇	一,〇〇〇	三〇〇	五〇〇	七〇〇
八寸表紙	全	六	一五	一五	一〇	一一	一一
游美濃十三行系紙	全	一三〇	三二〇	一五〇	五〇	一〇〇	一三〇
美濃表紙	全	五	一〇	二〇	一〇	一三	一五
游美濃半枚系紙	全	二〇	八〇	四〇	二〇	三〇	三〇
回機系紙	全	一七〇	二六〇	五〇〇	二〇〇	二五〇	三〇〇
狀袋	全	二〇	三三〇	七〇〇	四〇〇	五〇〇	六〇〇
綴系	玉	二	五	五	二	三	四

巡回日誌冊	厚美濃礬紙沙	引美濃礬紙沙	石油	種油	麥油	生油	摺付木	拾叻蠟燭	郵便切手	炭	月 別		收稅部	富山收稅署	魚津收稅署	高岡收稅署	出町收稅署	各部對スル標準額			
											單位	稅 額									
冊	枚	枚	合	合	合	合	箱	挺	厘	匁	每	一ヶ月又ハ	每	一人ノ	最						
〇	一五	三〇	一〇	一〇	八〇	四	三	二〇	一八,〇〇〇		每	一ヶ月又ハ	每	一人ノ	最	二,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	一,九〇,〇〇〇
											每	一ヶ月又ハ	每	一人ノ	最	七五	二〇	二〇	二〇	二〇	二,〇〇〇
											每	一ヶ月又ハ	每	一人ノ	最	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二,〇〇〇
											每	一ヶ月又ハ	每	一人ノ	最	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二,〇〇〇
											每	一ヶ月又ハ	每	一人ノ	最	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二,〇〇〇
											每	一ヶ月又ハ	每	一人ノ	最	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二,〇〇〇
											每	一ヶ月又ハ	每	一人ノ	最	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二,〇〇〇
											每	一ヶ月又ハ	每	一人ノ	最	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二,〇〇〇
											每	一ヶ月又ハ	每	一人ノ	最	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二,〇〇〇
											每	一ヶ月又ハ	每	一人ノ	最	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二,〇〇〇
											每	一ヶ月又ハ	每	一人ノ	最	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二,〇〇〇



●訓令第二十五號 明治二十六年三月二十四日

郡役所 警察署  
縣立學校

糞尿拂下之儀自今左ノ通取扱フヘシ

一年度毎ニ競争入札ニ附スヘシ

但一ノ年見積リ金額壹圓未満ノ分ハ隨意契約ヲ爲スコトヲ得

一前年度ニ於テ競争入札ノ廣告ヲ爲シ豫メ落札者ヲ定メ置キ年度ノ初ニ於テ契約ヲ爲スヘキモノトス

一契約保證金ハ一ノ年收入額見積金ヲ四分シ其一箇ニ當ル金額ヲ保證金トシ壹ケ年間据置トシ取立テ置クモノトス

一拂下代價ハ毎三ヶ月分ツ、納入セシムヘシ

一競争入札法ハ總テ地方會計規則ニ據リ取扱フヘシ

●訓令第五十二號 明治二十六年五月五日

警察署 警察分署

明治二十五年<sup>十一月</sup>訓令第一百號遺失物取捨置品漂流物出納順序中「漂流物」ノ文字ハ總テ削除シ其他同順序第四項中區別ノ下ニアル括弧内「漂流」トアルヲ「遺失」ニ改正ス

●訓令第三百三十二號 明治二十六年十二月二十八日

收稅署

間接國稅犯則者處分法ニ據リ沒收シタル物品ハ本廳物品會計官吏ニ引繼クヘシ

但現品ヲ以テ沒收シタル分ニ限り直ニ物品所在ノ郡市長ニ引繼クコトヲ得此場合ニ於テハ品目數量及見積價格ヲ物品會計官吏ヘ報告スヘシ

●富山縣訓令第三百三十三號 明治二十六年十二月二十八日

郡市役所

間接國稅犯則者處分法ニ據リ沒收セシ物品ノ公賣方郡市長ニ委任候條左ノ規程ニ據リ取扱フヘシ  
沒收物品取扱規程

第一條 物品會計官吏又ハ收稅署長ヨリ沒收物品ヲ移牒シタルトキハ直ニ沒收物品公賣規則ニヨリ取扱フヘシ

第二條 前條ノ物品ハ沒收品出納簿ヲ設置シ其出納ヲ整理スヘシ

第三條 公賣ニ付シタル物品落札ヲ命シタルトキハ即日第一號書式ニ據リ報告スヘシ  
但當廳ニ於テハ本文報告ニ據リ納入告知書ヲ發付スルヲ以テ富山本金庫又ハ支金庫ノ領收證書ヲ檢閲シテ其物品ヲ引渡スヘシ

第四條 物品中腐敗又ハ輕微品ニシテ價值ナキト認ムルモノハ適宜燒却又ハ棄却スヘシ

第五條 物品ヲ拂下タルトキ又ハ前條ノ物品ヲ處分セントキハ一ノ月毎ニ第二號及第三號書式ニ據リ翌月五日限リ物品會計官吏ヘ報告スヘシ

但拂下ニ係ルモノハ物品價収證書ヲ添付シ燒棄却ニ係ルモノハ證明書ヲ添付スヘシ其書式ハ第四號及第五號ニ據ルヘシ

(第一號書式)

沒收物品落札ニ付報告

品目	員數	價格	移没 取又ハ 戻月日	拂下 月日	拂下 代價	拂下 人住所 氏名
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	何程	何
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	何程	何
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	何程	何
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	何程	何

右物品拂下方本日契約済ニ付及報告候也

年月日

知事宛

官職氏

名印

(第二號書式)

何月中沒收品處分濟報告

品目	員數	價格	移没 取又ハ 戻月日	拂下 月日	拂下 代價	拂下 人住所 氏名
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	何程	何
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	何程	何
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	何程	何
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	何程	何

但價収證書何通添付

右報告候也

年月日

物品會計官吏宛

官職氏

名印

(第三號書式)

何月中沒收品處分濟報告

品目	員數	價格	移没 取又ハ 戻月日	拂下 月日	拂下 代價	拂下 人住所 氏名
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	何程	何
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	何程	何
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	何程	何
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	何程	何

但證明書何通添付

右報告候也

年月日

官職氏

名印

物品會計官吏宛

(第四號書式)

物品受取證

一何品

何個

一何品

何個

一何品

何個

右御拂下ニ付正ニ受取候也

年月日

住所

氏

名印

郡市長宛

(第五號書式)

證明書

一何品

何個

右ハ何々腐敗等ニヨリ公賣ニ付スルモ價值ナキ事ニ付本日燒却致候此段證明候也  
由(何々成規ニヨリ賣却能ハサルモノ)

年月日

官職氏

名印

●富山縣訓令第三百三十四號

明治二十六年十二月二十八日

警察署

警察分署

沒收物品公賣方警察署長ニ委任候條左ノ規程ニ據リ取扱フヘシ

但警察分署ニ於テ沒收シタル物品ハ所轄警察署ニ取纏メ處分スヘシ

沒收物品取扱規程

第一條 沒收物品ハ沒收品申納簿ヲ設置シ受拂ノ都度品目員數價格見積價格及沒收又ハ處分ノ事

由年月日ヲ洩ナク記載シ常ニ現在品ヲ明瞭ナラシムヘシ

但價格ノ不明瞭ナルモノハ價格ヲ付セルモ妨ケナシ

第二條 沒收物品ハ每三个月又ハ六个月分取纏メ物品所在ノ警察署ニ於テ沒收物品公賣規則ニ據

リ取扱フヘシ

但度量衡檢印及銃砲彈藥類ハ各其取締規則ニ據リ免許人ニ公賣スヘシ

印章類ハ印面ヲ削除シ鍵鑰ノ類ハ其現形ヲ變シテ公賣スヘシ

第三條 公賣ニ付シタル物品落札ヲ命シタルトキハ即日第一號書式ニ據リ報告スヘシ

但當廳ニ於テハ本文報告ニ據リ納入告知書ヲ發付スルヲ以テ富山本金庫又ハ支金庫ノ領收證



書ヲ檢閲シテ物品ヲ引渡スヘシ

第四條 物品中賣却シ能ハサル成規アルモノ又ハ輕微品ニシテ價值ナキト認ムルモノ及腐敗物ハ適宜燒却又ハ棄却スヘシ

第五條 物品ヲ拂下タルトキ又ハ前條ノ物品ヲ處分セシトキハ第二號及第三號書式ニ據リ翌月五日限リ物品會計官吏ヘ報告スヘシ

但拂下ニ係ルモノハ物品價収證書ヲ添付シ燒棄却ニ係ルモノハ證明書ヲ添付スヘシ其書式ハ第四號及第五號ニ據ルヘシ

(第一號書式)

沒收物品落札ニ付報告

品目	員數	落札代價	落札人住所氏名
何品	何程	何程	何町村番地氏名
何品	何程	何程	何
何品	何程	何程	何
何品	何程	何程	何

右物品拂下方本日契約済ニ付及報告候也

年月日

知事宛

官職氏

名印

(第二號書式)

何月中沒收品處分濟報告

品目	員數	價格	沒收又ハ移牒月日	拂下月日	拂下代價	拂下人住所氏名
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	何程	何町村番地氏名
何品	何程	不明價格	何月何日	何月何日	何程	何
何品	何程	不明價格	何月何日	何月何日	何程	何
何品	何程	不明價格	何月何日	何月何日	何程	何

但領収證書何通添付

右報告候也

年月日

物品會計官吏宛

官職氏

名印

(第三號書式)

何月中沒收品處分濟報告

品目	頁數	價格	沒收又ハ 移牒月日	處分月日	處分ノ事由
何品	何程	何程	何月何日	何月何日	公賣ニ付スルモ價值ナキニ ヨリ燒棄(棄)却
何品	何程	不明瞭格	何月何日	何月何日	何々ニ付何々セシ分
、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、

但證明書何通添付

右報告候也

年月日

官職氏

名印

物品會計官吏宛

(第四號書式)

物品受取證

一何品

何個

一何品

何個

一何品

何個

右御拂下ニ付正ニ受取候也

住所

年月日

氏

名印

警察署長宛

(第五號書式)

證明書

一何品

何個

一何品

何個

右ハ何々腐敗等ニヨリ公賣ニ付スルモ價值ナキ事ニ付本日燒却致候此段證明候也  
由(何々成規ニヨリ賣却能ハサルモノ)

年月日

官職氏

名印

●富山縣訓令第百三十五號

明治二十六年十二月二十八日

郡市役所

警察署

明治二十四年三月訓令第三十六號沒收物品公賣取扱規程左ノ通り改正ス

沒收物品公賣規則

第一條 沒收物品ノ公賣ハ競争入札ニ付スヘシ

第二條 物品ヲ公賣ニ付スルトキハ入札期日ヨリ少ナクモ十五日以前ニ揭示又ハ其他ノ方法ニ據

リ廣ク公告スヘシ

但腐敗ノ憂アルモノハ此限ニアラス

第三條 前條揭示又ハ公告ニハ左ノ事項ヲ示スヘシ

一 競争入札ニ付スル物品ノ數量

二 契約書案ヲ示ス場所及其契約ノ取結ヲ擔任スル官吏ノ官氏名

三 競争執行ノ場所及日限時刻

四 入札ノ保證金

第四條 入札保證金ハ其物品ノ見積リ代金百分ノ五以上トシ契約保證金ハ其拂下代價百分ノ十五トス

第五條 競争入札ニ付シタル物品ノ價格ヲ豫定シ其豫定價格ヲ封書トシ開札ノトキ之レヲ開札ノ場所ニ置クヘシ

第六條 入札ヲ開封シ豫定價格ニ達シタル最高價ヲ以テ落札トスヘシ

第七條 開札ハ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ行フヘシ入札人又ハ其代理人開札ノ場所ニ出席セサルトキハ其入札ハ無効トスヘシ

第八條 開札ノ上金員ノ文字判明セサルモノハ其入札ヲ採用セサルヘシ

第九條 開札ノ後違算又ハ誤記ヲ理由トシ故障ヲ申立ツルモ一切之ヲ採用セサルヘシ強テ故障申立ツルモノアルトキハ違約トシテ該保證金ヲ沒收スヘシ

第十條 開札ノ上入札價格一モ豫定價格ニ達セサルトキハ直ニ入札人ヲシテ再入札ニ付シ尙價格不相當ナル場合ニハ入札ヲ取消スヘシ

第十一條 開札ノ上落札トナルヘキ同價ノ入札者數名アルトキハ同價ノ入札者ヲシテ直ニ再入札ヲ爲サシメ尙同價ノ入札アルトキハ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ムヘシ

第十二條 落札者契約ヲ結ハサルトキハ入札保證金ヲ又契約ヲ履行セサルトキハ契約保證金ヲ沒收スヘシ

●富山縣訓令第百三十六號 明治二十六年十二月二十八日 警察署 警察分署

明治二十三年一月訓令第百三十七號

●富山縣訓令第百三十七號 明治二十六年十二月二十八日 郡役所 收稅署

明治二十四年三月訓令第百二十五號間接國稅犯則者處分法ニ依リ沒收セシ物品取扱手續廢止ス

●俸給

●訓令第百八號 明治二十六年二月十七日 直稅分署 間稅分署

內國稅徵收費支辨ニ屬スル傭員俸給支給規則左ノ通相定ム

但明治二十三年四月訓第七二號ハ廢止ス

內國稅徵收費支辨ニ屬スル傭員俸給支給規則

明治二十六年  
五月十二日  
令第五十五號  
ヲ以テ第一條  
ヲ改正ス

第九節 俸給

二七六

第一條 月給ハ毎月二十一日日給ハ其月末日支給スルモノトス但休日ニ當ル時ハ月給ハ繰下ケ日給ハ繰上トス

第二條 俸給ハ新ニ採用若クハ他職ヨリ轉職シ又ハ増給減給ノ月ハ總テ發令ノ翌日ヨリ日割計算ヲ以テ支給ス但日給備ヲ命シタル時ハ其就職ノ當日ヨリ支給ス

第三條 日給備ハ一般ノ休暇日ヲ除クノ外執務セサルトキハ日給金ヲ支給セス

第四條 廢廳及解備死亡ノ時ハ月給ハ當月分ノ全額日給ハ出勤日數ニ依リ其際支給ス

第五條 病氣ノ爲ノ執務セサルコト九十日ヲ踰ユル者及私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト三十日ヲ踰ユル者ハ月給ノ半額ヲ減ス但公務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ又ハ忌服ヲ受クル者

及特旨ニ依リ休暇ヲ賜ハル者ハ此限ニアラス

第六條 本則第五條ニ依リ減給ノ者廢廳解備死亡ノ時ハ其減給ニ係ル當月分ノ全額ヲ支給ス

第七條 他職へ轉職シタル者ハ第一條ノ支給日ニ拘ハテス月給ハ日割計算ヲ以テ發令ノ當日マテ

日給ハ出勤日數ニ依リ其際支給ス

第八條 傷痍忌服若クハ特旨賜暇ノ場合ハ病氣若クハ私事ノ故障ト連續ト連續スルモ減給トナルヘキ缺

勤日數中ニ算入セス又病氣ト私事ノ故障ト連續ト連續スル場合ニ於テモ之ヲ通算セス

第九條 月給ヲ支給スルニ當リ計算上厘位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ之ヲ切捨ルモノトス

日割計算ノ法ハ其月ノ現日數ニ依ルヘシ

▲訓令第八參號照

訓令第七二號(明治二十三年四月)ハ收稅部備員俸給支給規則ナリ

●訓令第六十八號 明治二十六年六月二日 郡役所 警察署 警察分署

縣立學校 伏木測候所

明治二十三年<sup>五</sup>月訓令第九十四號地方稅ヲ以テ支辨スル俸給支給規則第一條左ノ通改正ス

第一條 月給ハ毎月二十一日ニ支給シ休日ニ當ルトキハ順延トス日給ハ末日ニ支給シ休日ニ當ルトキハ繰上ケトス但支給後日割返納セシムヘキ者アルトキハ直ニ之ヲ返納セシメ轉職退職及死亡ニ係ル者ノ俸給ハ其時々之ヲ支給ス

▲訓令第六十八號參照

訓令第九十四號(明治二十三年五月三十日)抄錄

第一條 俸給ハ毎月末日ヲ以テ之ヲ支給シ休日ニ當ルトキハ順次繰上ケトス但轉職及死亡ニ係ル者ノ俸給ハ其時々之ヲ支給ス

●富山縣訓第一五一號 明治二十六年十二月二十三日 郡役所

自今雇員ノ俸給額ハ一个月拾貳圓ヲ超過スルヲ許サス但特別技藝ヲ要スルモノハ拾貳圓ヲ超過ス

第九節 俸給

二七七

ルヲ得此場合ニ於テハ本知事ノ認可ヲ要ス  
右訓令ス

●旅費

●訓令第五十六號 明治二十六年五月十三日 郡役所 警察署 警察分署  
國庫支辨ニ係ル内國旅費ノ内車馬賃並日當左ノ通改正來ル十五日ヨリ施行ス

旅費支給表

等	級	車馬賃 每二里	日當 每一日
二	等	勅任官 拾六錢	貳
三	等	奏任官 拾貳錢	壹圓參拾錢
四	等	判任官 九錢	六拾錢
	備	七錢	四拾五錢

管内旅費支給表

等	級	車馬賃 每一里	日當 每一日
二	等	勅任官 拾貳錢	壹圓六拾錢

三	等	奏任官 拾	錢	壹	圓		
四	等	判任官 七	錢	五	拾	錢	
	備	徵兵參事員 七	錢	五	拾	錢	
	備	六	錢	參	拾	五	錢

●訓令第十七號 明治二十六年十一月二十九日 警察署 警察分署  
明治二十一年<sup>四</sup>達第二百八十七號本月三十日限り廢止ス

▲訓令第十七號參照  
達第二百八十七號(明治二十一年四月廿日)ハ警察署同分署該警部警部補持區内巡廻日當月額ノ件ナリ

●富山縣訓令第二百二十三號 明治二十六年十二月十五日 郡役所 縣立學校  
郡書記及ヒ縣立學校職員中判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者並雇及ヒ該學校職員中待遇ナキ者管外ニ旅行スルトキハ左表ノ日當車馬賃ヲ支給ス

旅費支給額

郡書記及ヒ縣立學校職員中判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	車馬賃一里毎ニ	九	錢	日當一日毎ニ	六	拾	錢
-----------------------------	---------	---	---	--------	---	---	---

雇及ヒ縣立學校職員中待遇ナキ者

七

錢

四

拾

五

錢

●訓令第一百十八號 明治二十六年十一月二十九日  
警部持區内巡廻日當額左ノ通相定メ來ル十二月一日ヨリ施行ス

警察署 警察分署

一警部持區内巡廻日當額

金六拾錢

●富山縣訓令第二百二十四號 明治二十六年十二月十五日

郡役所

明治二十四年<sup>十二</sup>月<sup>十二</sup>訓令第七十一號中左ノ通改正削除ス

一郡書記八月額拾圓五拾錢雇員八月額金九圓ヲ支給ス

但シ一个月未滿ノ端日數ハ現旅行ノ日數ニ依リ郡書記ハ一日金參拾五錢雇員ハ一日金參拾錢  
ツ、支給スルモノトス

第二項削除ス

▲富山縣訓令第二百二十四號參照

訓令第七十一號(明治二十四年十二月十一日)

土木事業ニ關シ其郡内ヲ旅行スル郡書記及ヒ雇員ノ旅費ハ自今左ノ方法ニ依リ月額ヲ以テ支給スヘシ

一郡書記八月額金拾參圓雇員八月額金九圓ヲ支給ス

但一个月未滿ノ旅行ハ其現日數ニ依リ日割ヲ以テ之ヲ支給ス

一郡役所ヨリ工事ノ場所ニ至ル間ハ往復共普通旅費ヲ支給ス

●富山訓令第二百二十五號

明治二十六年十二月十五日

郡役所 縣立學校

明治二十五年<sup>六</sup>月<sup>六</sup>訓令第六十一號別表中左ノ通り改正ス

郡書記及ヒ縣立學校職員中判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者

七

錢

五

拾

錢

雇及ヒ縣立學校職員中待遇ナキ者

六

錢

參

拾

五

錢

▲富山縣訓令第二百二十五號參照

訓令第六十一號(明治二十五年六月二十日)抄錄

一地方稅支辨ニ屬スル旅費支給規則左ノ通改正ス

但土木事業ニ關スル日額旅費並巡査持區内月額旅費及押丁旅費支給方ハ各其規定ニ依ル

(別表) 旅費額

縣立學校職員中奏任及奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	拾	貳	錢	壹	圓	貳	拾	錢
郡書記及縣立學校職員中判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者	八		錢	五	拾	五		錢
管内車馬賃一里毎ニ								
管内日當一日毎ニ								

監獄醫及教誨師ニシテ判任ノ待遇ヲ受クル者	七	錢	五	拾	錢
巡查及看守	六	錢	四	拾	錢
雇及縣立學校職員中待遇ナキ者	六	錢	四	拾	錢

●寄山縣訓令第三百三十號 明治二十六年十二月二十八日

郡役所

郡長旅費請求及精算順序左ノ通相定メ來ル明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

郡長旅費請求及精算順序

第一條 郡長旅費ハ第一號書式ニ依リ歸著後三日以内ニ請求スヘシ若シ出發前假受ヲ要スルトキ

ハ第一號書式ノ請求書ニ第二號書式ノ明細書ヲ添付請求シ歸著後三日以内ニ第三號書式ノ精算書ヲ差出スヘシ

精算上過渡返納金アルトキハ仕拂命令官ヨリ送付シタル返納告知書ニ現金ヲ添ヘ指定ノ金庫ニ之ヲ拂込ムヘシ

第二條 旅行ノ事實ニ因リ迂路ヲ經テ旅行セントキ又ハ病氣滯在其他ノ事故ニ依リ公務外日數ヲ

要シタルトキ若クハ實費拂又ハ割増ノ許可ヲ受ケタルトキ其確認シ得ヘキ書類 病氣ハ醫師診斷キ事故ニハ所在市町村長等ノ證明書 實費拂ニハ正當受取人ノ領收證書 添ヘ知事ニ具申シ其認許書ヲ得テ之ヲ第一條ノ請求書又ハ精算書ニ添付差出スヘシ

其書式第四號ノ如シ

第三條 旅行中會計年度ノ甲乙兩年ニ跨ルトキハ年度ノ分界ヲ以テ甲年度ニ屬スル旅費ハ打切精算ヲ爲スヘシ其精算書差出期限ハ年度後二日迄トス

第四條 明治二十三年三月三訓第四九號及同年同月訓第五三號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

(第一號)

旅費請求書

一金何程

但何々御用ニ付何地へ旅行別紙明細書之通(假受ヲ要スルトキハ「明細書ノ通」ノ下「假受ヲ要スル分」ト記入スヘシ)

右御渡相成度候也

年月日

官姓 名印

知事 宛

(別紙)

旅費明細書

金何程

官姓 名印

御用柄		年月日	何月何日	何年何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日
何々御用ニ付何地へ旅行		發著並經過地名	何地發何地ヲ經テ	何地發何地等ヲ經テ	何地發何地	何地發何地	何地發何地	何地發何地	何地發何地	何地發何地	何地發何地	何地發何地	何地發何地	何地發何地	何地發何地	何地發何地	何地發何地	何地發何地
	汽車哩數																	
	汽船海里數																	
	陸路數																	
	日當數																	
	實費拂																	

計		同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
金員	單員	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日
何員	何員	何地	何地	何地	何地	何地	何地	何地	何地	何地	何地	何地	何地	何地	何地	何地	何地	何地
何圓	何圓	何哩	何哩	何哩	何哩	何哩	何哩	何哩	何哩	何哩	何哩	何哩	何哩	何哩	何哩	何哩	何哩	何哩
何圓	何圓	何海里	何海里	何海里	何海里	何海里	何海里	何海里	何海里	何海里	何海里	何海里	何海里	何海里	何海里	何海里	何海里	何海里
何圓	何圓	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里
何圓	何圓	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日	何日
何圓	何圓	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里	何十里

備考 或ハ年度界ニテ中仕切ノ事由又ハ別紙認許書相添トカ渾テ表中ニテ旅行ノ事實ヲ盡シ  
 難キトキハ茲ニ備考ヲ掲ケテ詳明ナルユトヲ要スルナリ

(金員受取ノトキハ左ノ如ク記載スヘシ)  
 前書ノ金員受取候也

(本文ハ本廳ニ於テ直  
 拂ノ分ニ限リ適用ス)

年月日

官姓 名印



縣知事宛

(實費拂ニ係ル證書ノ例左ニ)

證

一金 何程

人力車賃

但何地ヨリ何地マテ(何人挽)此里程何里(尤何々ニヨリ割増トモ)右受取候也

年月日

官姓名宛 (支拂人ノ宛名)

(右受負人) 何ノ誰印

何縣何郡町(村)

(乘馬、乘船、駕籠賃ノ類モ右ニ準スヘシ) (第二號)

旅費假受明細書

一金 何程

官姓名印

内譯

御用柄 何々御用ニ付何地へ旅行

發歸豫定 何月何日出立 何月何日歸著

區別員數單個	金員小計
汽車何哩何錢何圓	
汽船何海里何錢何圓	
陸行何里何拾錢何圓	
日當何日何圓何圓	

備考 何地何地間汽車何哩何地何地間汽船何海里何地ヨリ何地マテ陸路何里ト力渾テ旅行ノ事

實ヲ茲ニ掲クヘシ

(金員受取ノトキハ左ノ如ク記載スヘシ)

前書ノ金員受取候也 (本文ハ本應ニ於テ直拂ノ分ニ限リ適用ス)

年月日

官姓名印

縣知事宛

(第三號)

(假受金ニ對シ過不足アルトキノ例)

旅費精算書

一金 何程

但何々御用ニ付何地へ旅行曩ニ假受金何程ニ對シ精算不足(過渡)ノ分別紙明細書ノ通右精算相成度候也

年月日

縣知事宛

官姓 名印

(別紙)

旅費明細書

官姓 名印

一金 何程

精算不足金(過渡返納高)

外金 何程

精 算 高

右ノ方へ

金 何程

假 受 高

内

金 何程

何月何日受取

金 何程

、 、 、 、 、 、

(茲ニ記入スヘキ精算高ニ對スル内譯書式ハ第一號ニ全シ)

(金員受取(返納)ノトキハ左ノ如ク記載スヘシ)

前書ノ金員受取候也

(本文ハ本廳ニ於テ直拂ノ分ニ限リ適用ス)

(前書ノ金員返納候也)

年月日

縣知事宛

官姓 名印

(假受金ニ對シ過不足ナキトキノ例)

旅費精算書

一金 何程

但何々御用ニ付何地へ旅行曩ニ假受金何程ニ對シ精算過不足無之分別紙明細書ノ通右精算相成度候也

年月日

縣知事宛

官姓 名印

(別紙)

旅費明細書

一金何程

精算高

右ノ方へ

金何程

假受高

内

金何程

何月何日受取

金何程

差引過不足ナシ

(茲ニ記入スヘキ精算高ニ對スル内譯書式ハ第一號ニ全シ)

右ノ通ニ候也

年月日

官姓名印

縣知事宛

(第四號)

(車馬賃割増ヲ要スルトキ具申ノ例)(〇印ハ朱書)

認許ス

知事〇

車馬賃割増ノ義ニ付上申

今般何々御用ニ付何地へ旅行被命候處強雨積雪(道路險惡)ノ爲メ何地何日間里程何里ハ定額車馬賃ニテ支辨難致候間何割増ノ義特ニ御認許相成度此段上申候也

年月日

官姓名印

縣知事宛

(實費拂ヲ要セン事故具申ノ例)

認許ス

知事〇

何々ノ儀ニ付上申

一金何程

何々費(實費拂ヲ爲セシモノ數種アルトキハ其廉々内譯ヲ要ス)

但別紙正當受取證何業ノ通支拂金額

右ハ今般(長官隨行) 車馬賃實費拂之儀御命令ニ付前記ノ通り實費支拂ヲ爲シタル

ニ依リ右金額御認許相成度此段上申候也

年月日

官姓名印

縣知事宛

(命令外ノ旅行ヲ要セシ事故具申ノ例)  
○認許ス  
○知事○

何々ノ儀ニ付上申

今般何々御用ニ付何地へ旅行候處(途中「何々ノ事故ニ何地ヨリ何地マテ何里ノ迂路ヲ經」病氣或ハ何々ノ爲メ何地ニ於テ何月何日ヨリ何日マテ何日間滞在)候間右ノ義特ニ御認許相成度別紙(證明書)(或ハ何某地方ノ關係人ヲ云 證明書)(醫師診斷書)相添此段上申候也

年月日

官姓 名印

縣知事宛

●富山縣訓令第三百三十八號 明治二十六年十二月二十八日 警察署 警察分署  
警部旅費請求及精算順序左ノ通相定メ來ル明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

警部旅費請求及精算順序

- 第一條 警部旅費ハ第一號書式ニ依リ歸著後三日以内ニ請求スヘシ若シ出發前假受ヲ要スルトキハ第二號書式ニ依リ請求シ歸著後三日以内ニ第三號書式ノ精算書ヲ差出スヘシ但持區内巡回日當ハ一个月分ヲ取纏メ第四號書式ニ依リ翌月二日限り請求スヘシ
- 第二條 前條請求書又ハ精算書ハ總テ當該警察署長ヲ經テ差出スヘシ

警察署長前項ノ請求書又ハ精算書ヲ受ケタルトキハ其旅行ノ事實ヲ調査シ第五號書式ノ添書ヲ付シ五日以内ニ警察部ヲ經テ之ヲ差出スヘシ

第三條 精算上過渡返納金アルトキハ仕拂命令官ヨリ發付シタル返納告知書ニ現金ヲ添ヘ指定ノ金庫ニ之ヲ拂込ムヘシ

第四條 旅行ノ事實ニ因リ迂路ヲ經テ旅行セシモノ又ハ病氣滞在其他ノ事故ニ依リ公務外日數ヲ要シタルトキ若クハ旅費ノ實費支拂又ハ割増ノ許可ヲ受ケタルトキハ其確認シ得ヘキ書類(病氣醫師診斷書川留雪支ノ如キ事故ニハ所在市町村長等ヲ添ヘ知事(委任シアルモノハ其委任ヲ受ケル部署長)ニ具申シ其認許書ヲ得テ之ヲ第一條ノ請求書又ハ精算書ニ添付スヘシ

前項ノ具申書ハ當該警察署長及警察部長主務ノ課長並内務部長第四課長又ハ主任者ニ於テ其事故ヲ調査シ各檢印ノ上知事ニ差出シ檢印ヲ得テ之ヲ認許ノ證トス其書式第六號ノ如シ

第五條 旅行中會計年度ノ甲乙兩年ニ跨ルトキハ年度ノ分界ヲ以テ甲年度ニ属スル旅費打切精算ヲ爲スヘシ其精算書差出期限ハ年度後二日迄トス

第六條 明治二十三年三月三訓令第五十一號及同年同訓第五二號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス  
(第一號)

旅費請求書

一金何程  
内 譯

何警察署(長) 何分署長  
官 姓 名 印

御用柄

何々御用ニ付何地へ旅行

年 月 日	發著並經過地名	汽車哩數	汽船海里數	陸路數	日當數	實費拂
何 何 何	何地發何地ヲ經テ			何 里	一 日	何 里
同 同 同	何地發何町村ヲ經テ			何 里	一 日	何 拾 錢
同 同 同	何地地			何 里	一 日	何 拾 錢
同 同 同	何地地			何 里	一 日	何 拾 錢
同 同 同	何地地			何 里	一 日	何 拾 錢
同 同 同	何地地			何 里	一 日	何 拾 錢
同 同 同	何地地			何 里	一 日	何 拾 錢
同 同 同	何地地			何 里	一 日	何 拾 錢
同 同 同	何地地			何 里	一 日	何 拾 錢
同 同 同	何地地			何 里	一 日	何 拾 錢
同 同 同	何地地			何 里	一 日	何 拾 錢
同 同 同	何地地			何 里	一 日	何 拾 錢
同 同 同	何地地			何 里	一 日	何 拾 錢
同 同 同	何地地			何 里	一 日	何 拾 錢
同 同 同	何地地			何 里	一 日	何 拾 錢

同 何 日	何 何 地 港	何 何 地 泊發	一 日	
同 何 日	何 何 地 港	何 何 地 泊發	一 日	
同 何 日	何 何 地 港	何 何 地 泊發	一 日	
同 何 日	何 何 地 港	何 何 地 泊發	一 日	
同 何 日	何 何 地 港	何 何 地 泊發	一 日	
同 何 日	何 何 地 港	何 何 地 泊發	一 日	
同 何 日	何 何 地 港	何 何 地 泊發	一 日	
同 何 日	何 何 地 港	何 何 地 泊發	一 日	
同 何 日	何 何 地 港	何 何 地 泊發	一 日	
同 何 日	何 何 地 港	何 何 地 泊發	一 日	
同 何 日	何 何 地 港	何 何 地 泊發	一 日	

計	金	單	員	何 何 地 港	何 何 地 泊發	何 何 地 港	何 何 地 泊發
	員	個	數	何 十 哩	何 十 海里	何 十 里	何 十 日
	何	何	何	何 圓	何 圓	何 圓	何 圓
	何	何	何	何 圓	何 圓	何 圓	何 圓

備考 或ハ年度界ニテ中仕切ノ事由又ハ別紙認許書相添トカ渾テ表中ニテ旅行ノ事實ヲ盡ク  
シ難キトキハ茲ニ備考ヲ掲ケテ詳明ナルヲ要ス

(金員受取ノトキ左ノ如ク記載スヘシ)

前書ノ金員受取候也 (本文受取書式ハ富山警察署)  
在勤者ニノミ適用ス

年 月 日

縣知事宛

官 姓 名 印

證

一金何程

但何地ヨリ何地マテ人力車賃(何人挽)此里程何里(尤何々ニヨリ割増トモ)

右受取候也

何縣何郡何町

年月日

何 / 誰印

官姓 名宛 (支拂人ノ宛名)

(乘馬、乘船、駕籠賃ノ類モ右ニ準スヘシ)

(第二號)

旅費假受請求書

何警察署(長)何分署長

一金何程

官姓 名印

内譯

御用柄 何々御用ニ付何地へ旅行

發歸豫定 何月何日出立 何月何日歸著

區別員數單個金員小計

汽車何哩何錢何圓

汽船何海里何錢何圓

陸行何里何錢何圓

日當何日何拾錢何圓

備考 何地何地間瀛車何哩何地何地間汽船何海里何地ヨリ何地マテ陸路何里トカ渾テ旅行ノ

事實ヲ玆ニ掲クヘシ

(金員受取ノトキ左ノ如ク記載スヘシ)

前書ノ金員受取候也 (本文受取書式ハ富山警察署)

(在勤者ニノミ適用ス)

年月日

官姓 名印

縣知事宛

(第三號)

(假受金ニ對シ過不足アルトキノ例)

旅費精算書

何警察署(長)何分署長

官姓 名印

一金何程

精算不足金(過渡返納金)

外金何程

精算高

右ノ方へ  
金何程

内

假受高

金何程

何月何日受取

金何程

内 譯

(茲ニ記載スヘキ精算高ニ對スル内譯書式ハ第一號ニ全シ)

(金員受取「返納」ノトキハ左ノ如ク記載スヘシ)

前書ノ金員受取候也

(本文受取書式ハ富山警察署  
在勤者ニノミ適用ス)

(前書ノ金員返納候也)

年月日

官姓名印

縣知事宛

(假受金ニ對シ過不足ナキトキノ例)

旅費算精書

何警察署(長)何分署長

一金何程

官姓名印

右ノ方へ

金何程

假受高

内

金何程

何月何日受取

金何程

差引過不足ナシ

内 譯

(茲ニ記載スヘキ精算高ニ對スル内譯書式ハ第一號ニ全シ)

右ノ通候也

何警察署(長)何分署長

年月日

官姓名印

縣知事宛

(第四號)

持区内巡回日當旅費請求書

何警察署(長)何分署長

官姓 名印

一金何程 内譯

年	月	日	發著並經過地名	陸路數	日
	何	何	何地發何地ヲ經テ何地泊	何	一
同	何	何	何地發何地ヲ經テ何地へ歸着	何	一
計			員數	何	十
金			單個	何	拾
			員	何	日
			員	何	圓

(金員受取ノトキ左ノ如ク記載スヘシ)

前書ノ金員受取候也

(本文受取書式ハ富山警察署在勤者ニノミ適用ス)

年月日

縣知事宛

官姓 名印

(第五號)

記

一金何程

請求書何通

但管内(外)旅費(或ハ持区内巡回日當旅費)

右別紙請求書ノ通相違無之ニ付及進達候也

何警察署長

官姓 名印

年月日

縣知事宛

(第六號)

(車馬賃割増ヲ要スルトキ其中ノ例)

(書式中〇印ハ朱書)

〇認許ス

〇何部署長〇

〇何課長〇

〇知事〇

〇内務部長〇

〇第四課長〇

〔委任シアルモノハ其委任ヲ受ケタル部署長以下全シ〕

〇調査主任〇

(第四課主任)

車馬賃割増ノ義ニ付上申

今般何々御用ニ付何地へ旅行被命候處強雨積雪(道路險惡)ノ爲ノ何地何地間里程何里ハ定額車馬賃ニテ支辨難致候間何割増ノ義特ニ御認許相成度此段上申候也



年月日

縣知事宛

官姓 名印

(實費拂ヲ要セシ事故具申ノ例)

○認許ス

○何部署長○

○何課長○

○知事○

○内務部長○

○第四課長○

○調査主任○

(第四課主任)

何々ノ儀ニ付上申

一金 何程

何々費 (實費拂ヲ爲セシモノ數種アルトキハ其廉々内譯ヲ要ス)

但別紙正當受取證何葉ノ通支拂金額

右ハ今般 (長官(何部長)ノ隨行)

車馬賃實費拂ノ義御命令ニ付前記ノ通り實費支拂ヲ爲シタル

ニ依リ右金額御認許相成度此段上申候也

年月日

縣知事宛

官姓 名印

(命令外ノ旅行ヲ要セシ事故具申ノ例)

○認許ス

○何部署長○

○何課長○

知事○

○内務部長○

○第四課長○

○調査主任○

(第四課主任)

何々ノ義ニ付上申

今般何々御用ニ付何地へ旅行候處(途中「何々ノ事故ニヨリ何地ヨリ何地マテ何里ノ迂路ヲ經」病氣或ハ何々ノ爲メ何地ニ於テ何月何日ヨリ何日マテ何日間滞在)候間右ノ義特ニ御認許相成度別紙(證明書)(或ハ何某事故アリ滞在セシ地方ノ關係人ヲ云 證明書(醫師診斷書)相添此段上申候也

年月日

縣知事宛

官姓 名印

●諸給與

●富山縣訓第一四六號 明治二十六年十二月十九日

富山警察署 新湊警察署

伏木警察分署

富山警察署及ヒ伏木分署在勤巡查ニハ本日以後左ノ夜警賄料ヲ給ス

右訓令ス

一 公定シタル徹夜勤務ニ服シタル者ニハ夜警賄料貳度分金五錢

但旅費ヲ支給スヘキ場合ニハ之ヲ給セス

●第十類

●衛生

●縣令第三十一號 明治二十六年四月七日

明治十九年一月甲第五號布達種痘規則左之通改正ス但本年ニ限り春期種痘場ハ四月十五日ヨリ開設スヘシ

種痘細則

第一條 市町村長ハ毎年春秋二回 春四月一日ヨリ 秋十月二十日ヨリ 種痘場ヲ開設シ種痘規則第一條第二條ノ接種ヲ行フヘシ

第二條 市町村長ニ於テ種痘規則第三條ニ依リ臨時種痘ヲ行フノ必要アリト認め若クハ臨時種痘ヲ施行スヘキ命令ヲ受ケタルトキハ直ニ種痘場ヲ開設スヘシ

第三條 種痘場ハ各市町村ニ之ヲ設クヘシ但土地ノ便宜ニ依リ各市町村内數箇所ニ設クルヲ得

第四條 種痘場開設ノ場所及日割ハ豫メ其部内ニ公告スヘシ

第五條 市町村長ハ第一號書式ノ種痘臺帳ヲ調製シ本籍寄留ヲ問ハス總テ現住者ニ就キ登錄スヘシ

第六條 任意ノ醫師ニ就キ種痘ヲ爲シタル者ハ其醫師ヨリ種痘證ヲ受領シ市町村長ニ差出スヘシ

市町村長ハ種痘臺帳ニ記入割印ノ上之ヲ還附スヘシ

第七條 公設種痘場ニ於テ種痘ヲ爲シタル者ニ附與スヘキ種痘證ハ醫師ヨリ市町村長ニ送附シ市町村長ハ種痘臺帳ニ記入割印ノ上之ヲ接種者又ハ其監督者ニ附與スヘシ

第八條 第六條第七條ノ種痘證ハ第二號書式ニ依ルヘシ

第九條 醫師ヨリ天然痘ニ罹リタル者ニ附與スル證書ハ第三號書式ニ依ルヘシ

第十條 市町村長ハ醫師ヨリ差出ス天然痘患者終期報告書ニ依リ天然痘濟年月日ヲ種痘臺帳備考ノ欄ニ記入スヘシ

第十一條 種痘規則第四條ノ届出ヲ爲シ公設種痘場開設中ニ出頭セサル者其病氣全快又ハ事故解除シタルトキハ直ニ自費ヲ以テ種痘スヘシ但貧困無資ニシテ自費種痘スルコト能ハサル者ハ市町村長ノ許可ヲ受ケ次期ノ公設種痘場開設マテ延期スルコトヲ得

第十二條 市町村長ニ於テ定期ノ種痘ヲ行ヒタルトキハ第四號書式ニ依リ臨時種痘ヲ行ヒタルトキハ第五號書式ニ依リ各結了後十五日以内ニ縣知事ニ(市町村長ハ郡長ヲ經テ)開申スヘシ

第十三條 公設種痘場ニ要スル痘苗買入費種痘醫師給料及種痘場借上料其他種痘ニ關スル經費ハ市町村費ヲ以テ支辨スヘシ

第十四條 種痘規則第四條ノ届出ヲ爲サスシテ市町村長ノ指定セシ期日ニ接種セサル者又ハ本細則第十一條ニ違背シタル者ハ五錢以上五十錢以下ノ科料ニ處セラルヘシ但十六年未滿ノ者ニ就

キテハ其尊長後見人若クハ雇主等現ニ幼者ヲ監督スル者本條ニ依リ科料ニ処セラルヘシ

附 則

第十五條 本則ニ所謂再種トハ初種後五年乃至七年ニ接種シタルヲ稱シ三種トハ再種後五年乃至七年ニ接種シタルヲ稱シ其初種若クハ再種後五年ヲ經スシテ接種シタルモノハ總テ臨時種痘ト稱ス

第十六條 從來市町村役場ニ備付ノ種痘臺帳ハ明治二十六年六月三十日限り本細則第一號書式ノ帳簿ニ改寫スヘシ此場合ニ限り種痘證書ト臺帳トノ割印ヲ要セス

(第一號書式)

何府縣何郡市何町村大字何町村何番地 (寄留)(寄留者ハ本籍ヲモ記入スヘシ)		何年何月何日何府縣何郡市何町村大字何町村 何番地へ移轉又ハ寄留 (何年何月何日何主何某死亡長男何某相續)		身分氏名年齢
初 種	再 種	三 種	備 考	
明治何年何月何日 接種 善感(不善感) 割印	明治何年何月何日 接種 善感(不善感) 割印	明治何年何月何日 接種 善感(不善感) 割印	何年何月何日臨時種痘善感若クハ不善感 (何年何月何日天然痘) (何年何月何日死亡)	戸主 何年何月日生 何男女兄弟姉妹等 何年何月日生

明治何年何月何日 接種 善感(不善感) 割印	明治何年何月何日 接種 善感(不善感) 割印	明治何年何月何日 接種 善感(不善感) 割印	(何年何月何日雇入) (何年何月何日解雇)	雇人 何年何月日生
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------	--------------

備 考

- 一本臺帳ハ毎戸ニ一葉ヲ充テ調製スヘシ但其家族若クハ雇人等多人數ナルモノハ數葉ヲ充ツヘシ
- 一出産シタルモノハ出産届出ノ時其氏名ヲ記入シ其他入籍、入寄留又ハ出寄留者ノ復歸ハ其届出ノ時、未痘者ハ其氏名、初種再種及天然痘濟ノ者ハ其證書ニ照查シ氏名及事項ヲ記入スヘシ但種痘規則第二條ノ三種ヲ終ヘタル者ハ記入ニ及ハス
- 一雇人等雇主ノ保護ニ係ルモノハ共ニ一家族中ニ記入スヘシ
- 一臨時種痘施行ノ時ハ便宜簿冊ヲ設ケ接種者ノ人名并善感不善感ノ別ヲ記入スヘシ但本臺帳ニ登錄セル者ニ就キテハ更ニ備考ノ欄ニ其臨時種痘ノ年月日善感不善感ヲ記入スヘシ
- 一一家族中ノ死亡其他送籍又ハ出寄留ハ備考ノ欄ニ其事由ヲ記入シ氏名ノ上ニ附印ヲ捺スヘシ
- 一全戸他市町村へ送籍又ハ出寄留ノ者ハ式ノ如ク記入上ノ種痘臺帳ヨリ抜き取り別ニ編綴シテ

保存スヘシ

(第二號書式)

種痘證

何府縣何郡市何町村大字何町村何番地  
(寄留)戶主(何某何男女兄弟姊妹等)

何 年 月 日 生

初(再)(三)種善感 右何顆(不善感)  
左何顆

何郡市何町村大字何町村何番地

明治何年何月何日 醫師 何 某印

(第三號書式)

天然痘證

何府縣何郡市何町村大字何町村何番地  
(寄留)戶主(何某何男女兄弟姊妹等)

何 年 月 日 生

何年何月何日天然痘濟

何郡市何町村大字何町村何番地

明治何年何月何日 醫師 何 某印

備考

一本證書天然痘濟ノ日附ハ孕治ノ日ヲ記入スヘシ  
(第四號書式)

定期種痘表

種痘場 數	種痘場開 設年月日	種別 年 齡	初種				種痘者總 人員	種痘者總 人員	再種	
			善感	不善感	疾病	事故			善感	不善感
		一年未滿								
		二年未滿								
		三年未滿								
		三年以上未滿								
		五年未滿								
		十年未滿								
		十五年以上未滿								
		十五年以上								
		合計								

右開申候也 年月日	合計					三種				
	事故	疾病	不善感	善感	種痘者總人員	事故	疾病	不善感	善感	種痘者總人員
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

何郡市町村長 何 某印

備考

知事宛

一本則第六條種痘者ニシテ定期日前ニ係ルモノハ本表中ニ算入スヘシ  
(第五號書式)

臨時種痘表

種痘場 數	種痘場開設年月日		種別	種痘者 總人員	善感	不善感	疾病	事故	右開申候也 年月日
	種痘場開設年月日	種痘場開設年月日							
			一年以上未滿二年						
			二年以上未滿三年						
			三年以上未滿五年						
			五年以上未滿十年						
			十年以上未滿十五年						
			十五年以上未滿二十年						
			二十年以上未滿三十年						
			三十年以上未滿四十年						
			四十一年以上						
			合計						

何郡市町村長 何 某印

知事宛

●縣令第三十二號 明治二十六年四月七日

明治十九年六月甲第六十六號布達傳染病報告細則第三條及第一號第二號書式左ノ通改正ス

第三條 市町村長ニ於テ醫師ヨリ報告書ヲ受ケタルトキハ領收ノ年月日時刻ヲ記シ直ニ市長ハ縣廳ニ町村長ハ郡長ニ送達シ尙別ニ所轄警察署長若クハ警察分署長ニ通報スヘシ但痘瘡患者ニ就キテハ市町村長ニ於テ種痘臺帳ニ照查シ報告書中備考ノ欄ニ未痘又ハ何年何月初種(再種)(三種)濟(初種又ハ再種若クハ三種濟ノ後臨時種痘ヲナシタル者ハ其年月日ヲモ記ス)ト記入スヘシ

郡長ニ於テ町村長ヨリ報告書ヲ受ケタルトキハ領收ノ年月日時刻ヲ記シ直ニ縣廳ニ送達スヘシ  
(第一號書式)

傳染病患者初期報告

住	何府縣何郡市何町村大字何町村何番地	族	華士族平民
所	(寄留又ハ止宿)寄留者又ハ止宿者ハ(本籍ヲモ記スヘシ) 戶主	名	何 某
身	(何其父母何男女兄弟姉妹等)	備考	未痘○ 何年何月初(再)(三種)濟○ 何年何月初臨時種痘濟○ 主任印

職	業	何	業	生年月日	何年何月何日生
病	名	何	病	特發(傳染)	
發	病	地(自宅)	何府縣何郡市何町村何番地	某方	
發	日	時	年	何年何月何日何時	
診	日	時	年	何年何月何日何時	

年月日時

市町村長宛

住 所

醫師 何 某印

何月何日午前(后)何時領收

何市町村長 何 某印

何月何日午前(后)何時領收

何郡長 何 某印

(第二號書式)

傳染病患者終期報告

住所 何府縣何郡市何町村大字何町村何番地 (寄留又ハ止宿)寄留者又ハ止宿者ハ (寄留又ハ止宿)本籍ヲモ記スヘシ (何某父母何男女兄弟姉妹等)		族籍 華士族平民 何 某	
職 業	何	生年月日	何年何月何日生
病 名	何	發病日時	何年何月何日何時
診 定	何年何月何日何時	轉 歸	何年何月何日何時
月 日	何年何月何日	死亡	何年何月何日全治
年 月 日 時	何年何月何日何時	住 所	醫師 何 某印
何月何日午前(后)何時領收	何月何日午前(后)何時領收	何市町村長	何 某印
何月何日午前(后)何時領收	何月何日午前(后)何時領收	何市町村長	何 某印

▲縣令第三十二號參照

甲第六十六號傳染病報告細則(明治十九年六月二十九日)抄錄

第三條 戶長ハ醫師ヨリ報告書ヲ受ケタルトキハ領收ノ月日時刻ヲ記入シ直ニ郡長ニ送達シ尙

ホ別ニ所轄警察署若クハ分署ニ通報スヘシ而シテ郡長ハ戶長ヨリ該報告書ヲ受ケタルトキハ領收ノ月日時刻ヲ記入シ直ニ本縣衛生課へ送達スヘシ

●縣令第六十一號 明治二十六年十月六日

明治十七年十月第十七號布達鑛泉取締規則左ノ通改定ス

鑛泉取締規則

第一條 鑛泉ヲ採酌シテ販賣セントスル者ハ左ノ書類ヲ添へ縣知事ニ願出許可ヲ受ケヘシ但鑛泉湧出ノ地所他人ノ私有ニ屬スルトキハ地主ノ連署ヲ要ス

一 泉質ノ定量分析試驗成績書

二 主治効能用法用量ヲ記載セル書類

三 地目ニ關スル書類(湧出ノ箇所官有地ニ係ルモノハ貸渡許可書寫、私有地ニ係ルモノハ地目變換届書ノ寫)

何郡長 何 某印

第二條 溫泉場冷泉水湧出地ニ於テ浴場及客室ヲ開設セントスル者ハ左ノ書類ヲ添ヘ縣知事ニ願出許可ヲ受ケヘシ其許可ヲ受ケタル後浴場及客室ノ構造ヲ變更セントスルトキ亦全シ但溫泉湧出ノ地所他人ノ所有ニ屬スルトキハ地主ノ連署ヲ要ス

- 一 第一條第一及第三ノ書類
- 二 主治功能、浴法服用シ得ヘキモノヲ記載セル書類ハ其用法用量トモ
- 三 浴場及客室ノ圖面

第三條 溫泉採酌販賣人ニ於テ溫泉湧出地又ハ自宅ノ外ニ於テ支販賣所ヲ設クルトキハ三日以内ニ縣知事ニ届出ヘシ

第四條 溫泉場營業者ハ左ノ各項ヲ遵守スヘシ

- 一 溫泉ノ温度ハ華氏百十三度(攝氏四十五度)以下タルヘシ若シ湧出ノ熱度之レニ過クルトキハ放冷シテ温度ニ至ラシムヘシ
- 二 浴場ニハ泉質試驗成績書、主治功能、浴法服用シ得ヘキモノヲ記載セル書類ハ其用法用量トモヲ揭示スヘシ
- 三 浴場ニハ必ス常水ヲ備ヘ置キ盥嗽ノ用ニ供スヘシ

第五條 溫泉採酌販賣營業者及溫泉場ノ營業者ニ於テ廢業シ又ハ改氏名代替ヲ爲シタルトキ若シ

クハ支販賣所ノ位置ヲ變更スルトキハ三日以内ニ縣知事ニ届出ヘシ

附 則

第六條 本則發令前溫泉採酌販賣并溫泉場開設ノ許可ヲ得タル溫泉ニシテ其泉質ノ定量分析試驗未済ノモノハ相當試驗ヲ經且其試驗成績書ニ基キ相當ノ醫師ニ主治功能用法用量ヲ調査セシメ

明治二十七年九月三十日迄ニ縣知事ニ届出ヘシ

●訓令第三十三號 明治二十六年四月七日 郡市役所 町村役場

明治十九年一乙第八號達戶長役場取扱心得ヲ廢止ス

▲訓令第三十三號參照

乙第八號(明治十九年一月二十八日)ハ種痘細則ニ關スル戶長役場取扱心得ノ件ナリ

●訓令第九十九號 明治二十六年九月二十九日 郡市役所 町村役場

明治二十年六月達第五百五十三號六種傳染病ニ罹ル貧困者救濟規程第三條第一項ニ左ノ但書ヲ追加

但流行時ニ於テ縣知事又ハ郡市長ニ於テ特ニ命シタル醫師ヲシテ救治セシムル者ハ本項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

▲訓令第九十九號參照



達第五百五十三號六種傳染病ニ罹ル貧困者救濟規程(明治二十年六月二十三日)抄録

第一條 六種傳染病ニ罹リタル者本籍寄留旅行者ヲ問ハス其身元亦貧ニシテ親戚故舊之ヲ資ク  
ル能ハサル場合ニ於テハ其地ノ戸長ハ郡長ヘ稟議ノ上之カ豫防救濟ヲナスヘシ其費用ハ地方  
費ヲ以テ支辨スヘキモノトス

第三條 第一條赤貧者ト稱スルハ左ノ各項ニ該當スルモノヲ云フ

第一項 地方稅戶數割町村費戶別割ノ免除者并ニ其課額一戸平均額三分ノ一未滿ノ者及其家  
族

第二項 恤救規則ニ據リ救育米ノ給與ヲ仰ク者並ニ其家族

●醫業

●縣令第三十三號 明治二十六年四月七日

明治十七年十月甲第百十六號布達醫師取締規則左ノ通改正ス

醫師取締規則

第一條 醫師開業免狀ヲ有シ管内ニ於テ開業スル者ハ第一號書式ニ據リ免狀寫ヲ添ヘ三日以内ニ  
縣知事ニ届出ヘシ  
管内ニ於テ開業セル醫師ニシテ轉住轉籍其他身上ノ異動アルトキ又ハ休業スルトキハ三日以内

ニ縣知事ニ届出ヘシ

第二條 醫師ハ患者經過錄ヲ調製シ患者ヲ診斷治療スルトキハ第二號書式ニ依リ之ヲ登記シ十年  
間保存スヘシ

但衛生官吏及警察官ニ於テ患者經過錄ノ檢閲ヲ要スルコトアルトキハ之ニ應スヘシ

患者經過錄ヲ毀損亡失シタルトキハ三日以内ニ縣知事ニ届出ヘシ

第三條 醫師患者ニ藥劑ヲ授與スルトキハ其容器又ハ包裝等ニ内外用ノ別、用法、用量、授與ノ年  
月日、患者ノ氏名及醫師ノ氏名ヲ記スヘシ

但處方箋ヲ附與スルトキハ其處方箋ニ患者ノ氏名、年齢、藥名、分量、用法、用量、及處方ノ年月  
日ヲ記シ且醫師ノ氏名ヲ自記シ又ハ調印スヘシ

第四條 治療ノ患者死亡シタルトキハ第三號書式ニ依リ死産見妊娠后四個月以上ニシテ死  
シタルトキハ第四號書式ニ依リ證書ヲ作り該家ニ附與スヘシ体分娩シタルモノヲ云フ 検査案

治療ヲ施サ、ル死者ト雖モ検査ヲ請フモノアルトキハ速ニ之ニ應シ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 死者検査ノ際變死タルコトヲ發見スルトキハ其摸樣ヲ具シ直ニ所轄警察署又ハ警察分署  
長及市町村長ニ申報スヘシ

第六條 變死及行キ倒レ又ハ關毆賊難等ニ係ル負傷者ノ診療ヲ請フ者アルトキハ速ニ之ニ應シ尙

治療ノ見込アルモノハ直ニ其治療ニ着手シ且其摸樣ヲ具シ變死ハ所轄警察署長若クハ警察分署長及市町村長ニ開陳陳離等ニ係ル負傷者ハ所轄警察署長若クハ警察分署長ニ申報スヘシ

第七條 中毒患者ヲ診療シタルトキハ其毒物ノ品名及中毒ノ症候并患者ノ住所、氏名、年齢、職業及治療ノ方法ヲ記シ若シ毒物ノ品質判然セサルトキハ現品ヲ添ヘ直ニ市町村長又ハ所轄警察署長若クハ警察分署長ニ申報シ重テ其轉歸ヲモ申報スヘシ

第八條 患者治療中轉醫セントキ後醫ヨリ前醫ニ對シ病症ノ經過療法等ノ通知ヲ請求スルトキハ前醫ハ直ニ之ニ應スヘシ

第九條 明治十六年十月第三十五號布告醫師免許規則第八條ニ依リ免狀ノ書換ヲ出願シ又同規則第十條ニ依リ免狀ヲ返納スル者ハ十日以内ニ其願書又ハ届書ヲ差出スヘシ

第十條 死亡證書若クハ死体檢案證書ニ記載スヘキ病類ノ區分ハ左記ノ細目要領ニ依ルヘシ

病類細目要領

第一類 傳染性病

一 腸窒扶私

二 發疹窒扶私

三 赤痢

四 亞細亞虎列刺

五 實布の里亞 格魯布 義膜炎

六 痘瘡 (變痘 水痘)

七 麻疹

八 猩紅熱

九 脚氣

十 間歇熱

十一 羅斯

十二 膿毒症 敗血症

十三 病院脫疽

十四 百日咳

十五 產褥熱

十六 流行性耳下腺炎 亞性腫腺炎

十七 流行性腦脊髓膜炎

十八 急性關節癱瘓私 急性レウマチス  
淋病 便毒

十九 花柳病 淋病 便毒 下疳

二十 動物性病 恐水病 炭疽熱  
馬鼻疽

其他傳染性疾患

第二類 發育及營養病

(發育的疾患 體質的疾患)

二十一 初生兒ノ生活薄弱 產兒窒息

二十二 造構誤常 畸形產

二十三 齒牙病 生齒ニ因スル諸病

二十四 腺病

二十五 佝僂病

二十六 小兒營養消耗症

二十七 癩病

二十八 全身水腫

二十九 糖尿病(密尿) 尿崩(無味尿)

三十 脫疽

三十一 癰及腸瘍

三十二 營養消耗

三十三 矢荷兒倍個

三十四 貧血

三十五 白血病

三十六 甲狀腺腫

三十七 紫斑病(ウエルホフ井一氏發斑病)

三十八 アジソン氏病(銅色病)

其他營養及發育ノ障害

第三類 皮膚及筋肉病

三十九 血瘍

四十 皮下給締織焮衝 筋肉炎 水脈炎

四十一 初生兒ノ結締織硬化症

四十二 臍諸患

四十三 漸進性筋肉萎縮

其他ノ皮膚及皮下結締織ノ疾患

第四類 骨及關節病

四十四 骨及關節炎 骨炎、骨膜炎、骨髓炎、骨傷カリ骨疽子關節膿瘍、骨折エス

四十五 骨軟化

其他骨及關節ノ疾患

第五類 血行器病

四十六 心囊炎 心囊水腫ヲ含ム

四十七 心臟肥大 心臟膨大

四十八 瓣膜病

四十九 心臟破裂

五十 心臟麻痺 心臟脂化

五十一 動脈疾患

五十二 靜脈疾患

其他血行器ノ疾患

第六類 神經系統及五官器病

五十三 腦膜炎

五十四 腦水腫

五十五 腦炎

五十六 卒中

五十七 腦麻痺 腦貧血 腦充血

五十八 精神病 癲狂

五十九 脊髓炎 脊髓膜炎

六十 脊髓勞

六十一 脊髓麻痺 脊髓軟化ヲ含ム

六十二 子痲

六十三 癲癇 舞蹈病

六十四 破傷風 牙關緊急

六十五 其他ノ痲癱搖擗 驚癇

其他神經病ヲ含ム

六十六 耳病

六十七 眼病

第七類 呼吸器病

- 六十八 喉頭炎
- 六十九 喉頭氣管支勞
- 七十 急性氣管支炎 毛櫟氣管支炎
- 七十一 慢性氣管支炎
- 七十二 肺炎
- 七十三 肺勞 肺結核
- 七十四 咯血
- 七十五 肺氣腫 喘息
- 七十六 肺壞疽
- 七十七 肺麻痺 肺水腫
- 七十八 胸膜炎 胸水ヲ含ム
- 其他呼吸器ノ疾患

第八類 消化器病

- 七十九 口舌疾患

八十 耳下腺疾患

八十一 胃管疾患

八十二 下腹炎 腹膜炎 下腹膿腫 骨盤膿腫

八十三 腹水

八十四 脫腸

八十五 腸管壅塞

八十六 胃加苔兒

八十七 胃業瘍

八十八 胃狹窄

八十九 吐血

九十 腸出血

九十一 腸破裂

九十二 下痢 腸加答兒

九十三 吐瀉病即霍亂

九十四 胃腸炎

九十五 痲痛  
 九十六 腸 勞  
 九十七 腸間膜勞  
 九十八 疥癩疾患  
 九十九 膽石病  
 百 黃 疸  
 百一 肝臟炎  
 百二 急性肝臟消耗症  
 百三 慢性肝臟消耗症  
 其他消化器ノ疾患  
 第九類 泌尿生殖器病  
 百四 尿道及膀胱炎  
 其他ノ膀胱疾患及男子生殖器ノ諸患ヲ含ム  
 百五 尿 毒  
 百六 石 淋

百七 腎臟諸病  
 百八 女子生殖器病  
 百九 子宮外妊娠  
 百十 流 產  
 百十一 子宮破裂  
 百十二 妊娠及分娩 乳房膿腫ヲ含ム  
 百十三 子宮ノ疾患 分娩産褥ニ非サルモノ  
 百十四 卵巢諸患  
 第十類 外傷性變死  
 百十五 火傷 凍傷 日射病 電擊 爆發 壓死及誤死 怪死 相擊 銃創 切創 刺創  
 咬創 手術出血窒息 縊死 絞殺 溺死 自殺  
 第十一類 中毒病  
 百十六 動物性及植物性毒  
 百十七 礦物性毒  
 百十八 毒性瓦斯

百十九 亞爾簡保兒中瘧

一此類別中其他ノ疾患云々ト配セシハ該類別中ニ列舉スヘキ各病名ヲ省察シタルモノナルカ故ニ記入ニ當リ病名ヲ増加スルコトハ妨ナシ

一若シ類別中何レニ挿入スヘキカヲ確定シ難キモノアルトキハ死亡證書若クハ死休檢案證書病類ノ欄ニ其事由ヲ附記スルヲ要ス

(第一號書式)

醫術開業届

原籍何府縣何郡市何町村大字何町村何番地戸主

(何某何男女或ハ兄弟姉妹等)

族 籍

何 某

生年月日

免狀番號

第何號

免狀年月日

何年月日何日

免狀ヲ得タル要素 何々

(何學校卒業又ハ内務省醫術開業試驗完了)

今般何郡市何町村大字何町村何番地(肩背ノ地)ニ於テ醫術開業致候此段及御届候也

年 月 日

右

何

某 印

知 事 宛

何市町村長 何

某 印

(第二號書式)

住所 何府縣何郡市何町村大字何町村何番地戸主  
(何某父、母、何男女、兄弟、姉妹、妻等)

族籍 華士族平民  
職業 何業  
氏名 何  
生年 何

何 某  
何年何月生

病 疾 第何類何病  
何病

轉 歸 何年何月何日全治若クハ死亡

備 考

病況記事

處 方

摘 要

- 一 職業ハ現ニ操ル所ノ業ヲ記スヘシ
- 一 病症ハ第一種傳染性病腸窒扶私ト記スルカ如シ
- 一 備考欄内ニ婚姻上ノ關係、遺傳等病患者ニ附帶セル事項ヲ記入ス
- 一 病況記事ハ發病ヨリノ病況梗略ヲ記ス
- 一 諸方ハ藥品、分量、用量、用法、處方ノ年月日ヲ記入スヘシ但處方ヲ持續シタルトキハ特ニ記入ニ及ハス

(第三號書式)

死亡檢案證書

住所	何府縣何郡市何町村大字何町村何番地戶主(何某父、母、何男女妻兄弟姊妹等)	族籍	華士族平民
職業	何業	生年	何年何月何日
病類	第何類何病	病名	何病
身分		氏名	何某

死亡年月日時

何年何月何日何時

死因

何々

右私治療ノ患者ニ候處死亡致候  
死休檢案致候

(第四號書式)

死産證書

年月日

住所 醫師 何某印

何郡市何町村大字何町村何番地居住(同居)(寄留)  
華士族平民何某妻(何男某妻等)

出產者 某

死産兒ノ性 男(女)

右明治何年何月何日死産致候

年月日

住所 醫師 何某印

●縣令第六十二號 明治二十六年十月六日



醫會設置規則左ノ通相定ム

醫會設置則

第一條 開業醫師ハ左ノ事項ヲ審議スル爲メ醫會ヲ組織スヘシ

一 醫學ノ發達及地方病ノ探究

二 公私衛生及傳染病豫防

三 醫風ノ改良

四 醫業及衛生ニ關スル法律規則ノ普及

五 官公署ヨリ諮詢セル事項

第二條 醫會ヲ分テ部醫會、郡醫會、縣醫會ノ三種トス

部醫會ハ一郡ヲ數區ニ分割シテ之ヲ設ケ其區域内在住ノ開業醫師相會スルヲ謂ヒ郡市醫會ハ一郡市内在住ノ開業醫師全員相會スルヲ謂ヒ縣醫會ハ各部醫會ヨリ委員一名、市醫會ヨリ委員三名ヲ互選シ相會スルヲ謂フ

第三條 部醫會、市醫會ハ一年三回以上郡醫會縣醫會ハ一年一回以上開設スヘシ

第四條 部醫會ノ區劃分合ハ郡長之ヲ定ム

第五條 開業醫師ハ本籍寄留ヲ論セス醫會ニ加入スヘシ但甲部ヨリ乙部ニ又ハ甲郡市ヨリ乙郡市

ニ出張治療所ヲ設クル者ハ甲乙醫會ニ加入スヘキモノトス

第六條 醫會ニハ會員ノ選舉ニヨリ會長副會長各一名幹事若干名ヲ設クヘシ

會長ハ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ノ事務ヲ助メ

幹事ハ庶務及會計ヲ掌ル

第七條 特別ノ調査ヲ要スル事項アルトキハ會員ノ互選ニヨリ審査委員ヲ設クルコトヲ得

第八條 醫會ノ役員ハ凡テ無給トス但審査委員ニハ醫會ノ議決ニヨリ相當ノ報酬ヲ附與スルコトヲ得

第九條 部醫會及郡市醫會ノ費用ハ其醫會員ノ負擔タルヘシ

縣醫會ノ費用ハ部醫會市醫會ニ於テ分擔スヘシ

第十條 縣醫會ニ參列スヘキ委員ニハ部醫會市醫會ノ決議ニヨリ其醫會費ノ内ヲ以テ相當ノ手當ヲ附與スルコトヲ得

第十一條 醫會ノ規約ハ各其會ニ於テ議定シ部醫會郡市醫會ハ郡市長、縣醫會ハ縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條 醫會會員ニ於テ醫事又ハ衛生ニ關スル事件ニ付意見アルモノハ醫會ノ議ニ付シ其會ノ

所見トシ 縣知事又ハ郡市長ニ建議スルコトヲ得

第十三條 醫會ニハ縣廳又ハ郡市役所ヨリ吏員ヲ臨場セシムルコトアルヘシ

第十四條 部醫會若クハ郡市醫會ヲ開カントスルトキハ五日以前ニ會長ヨリ郡市長ニ縣醫會ヲ開カ  
ントスルトキハ會長ヨリ十日以前ニ縣知事ニ届出ヘシ

第十五條 醫會會長ハ毎會會務ノ狀況出席欠席醫師ノ住所氏名ヲ記シ部醫會及郡市醫會ハ其郡市長  
ニ縣醫會ハ縣知事ニ報告スヘシ

第十六條 開業醫師ニシテ本則又ハ醫會規約ヲ遵守セサルモノアルトキハ部醫會若クハ郡市醫會ニ  
在テハ會長ヨリ郡市長ニ縣醫會ニ在テハ會長ヨリ縣知事ニ上申スヘシ

●告示第六十七號 明治二十六年六月二十三日

明治二十六年<sup>四</sup>月<sup>内務省令第六號ニ依リ</sup>醫術開業試驗及藥劑師試驗手数料ハ登記印紙ヲ以テ納ムル  
コト、相成候ニ付テハ該印紙貼川前本人出頭スルカ若クハ書面ヲ以テ豫メ願書ヲ差出シ當廳ノ檢  
閱ヲ請フヘシ

▲告示第六十七號參照

内務省令第六號(明治二十六年四月十四日)醫術開業試驗及藥劑師試驗手数料ハ自今其金額ニ  
相當スル登記印紙ヲ願書ニ貼シ納付スヘシ

●告示第六十八號 明治二十六年六月二十三日

醫術開業試驗及藥劑師試驗出願者ニシテ受験地ノ變換ヲ出願スル者ハ自今願書差出期限經過後ハ  
一切許可不相成候旨其筋ヨリ通牒有之候條豫メ注意スヘシ

●訓令第三十二號 明治二十六年四月七日

郡市役所 警察署  
警察分署 町村役場

明治二十六年<sup>四</sup>月<sup>縣令第三十三號</sup>醫師取締規則第七條ニ依リ警察署長若クハ警察分署長ニ於テ中毒  
患者ニ係ル報告ヲ受領セルトキハ之ヲ市町村長ニ通報シ市町村長ニ於テ受領セルトキハ之ヲ警察  
署長若クハ警察分署長ニ通報スヘシ

市町村長ニ於テ前項ノ報告ヲ受領シ又ハ警察署長若クハ警察分署長ヨリ通報ヲ受ケタルトキハ本  
知事(町村長ハ郡長ヲ經テ)ニ開申スヘシ

●訓令第四百四號 明治二十六年十月六日

郡市役所

明治十七年<sup>十一</sup>月<sup>乙第三百五十號</sup>開業醫師組合概則ヲ廢止ス

●賣藥

●訓令第八十六號 明治二十六年八月四日

郡役所

賣藥請賣鑑札並行商鑑札製作費ハ明治二十七年<sup>度</sup>ヨリ地方稅衛生及病院費中衛生費ヨリ支辨ス

明治二十六年  
八月二十五日  
訓令第八十九  
號ヲ以テ本訓  
令中更正

●第十一類

●農工商

●縣令第二十號 明治二十六年三月十七日

明治十八年十月甲第七十八號布達漁業採藻取締規則第六條左ノ通改正シ同第二條但書及同免許願手續第十三條ヲ刪除ス但本令ハ明治二十六年四月一日ヨリ施行ス

漁業採藻取締規則

第六條 遊漁ハ竿釣ニ限ルヘシ

▲縣令第二十號參照

甲第七十八號(明治十八年十月二十六日(漁業採藻取締規則抄錄))

第二條 漁業採藻ヲ爲サントスル者ハ出願手續ニ照準都テ免許鑑札ヲ願受ケ執行ノ節ハ携帶スヘシ最モ水火盜難其他ノ事故ニ依リ免許鑑札書換出願中ハ其趣所轄戶長へ申出假營業證ヲ受ケ執業スルコトヲ得

但河川池沼ニ於テ場所不定ノ竿釣(掛釣ヲ除ク)ニ限リ免許鑑札ヲ願受ルニ及ハス

第六條 遊漁ハ第二條但書ノ漁具ニ限ルヘシ

●縣令第三十號 明治二十六年三月二十八日

蠶絲業取締規則左ノ通相定ム

但明治十九年一月甲第三號蠶絲業組合規則ハ廢止ス

蠶絲業取締規則

第一條 蠶絲業トハ養蠶、蠶種製造、製絲、繭商、蠶種商、生絲商、附屬品商(熨斗絲、生皮、苧出、繭真綿ノ類)ノ各業ヲ總稱ス

第二條 營業者ハ桑病蟲害蠶病其他異變アルトキハ之レカ豫防驅除ヲ爲シ其旨速カニ縣廳ニ届出ツヘシ

第三條 營業者ハ左ノ各項ニ觸レ蠶種ヲ製造又ハ飼育スルヲ得ス

一 餘付糊付ヲナセシモノ

二 蛾ヲシテ終夜産卵セシメシモノ

三 同切繭薄皮繭汚繭及ヒ種類形狀不同ノ繭ヲ以テ製造ニ供用セシモノ

四 他人ノ製繭ヲ買受ケ製造ニ供用セシモノ

第四條 蠶種ハ種類(春夏秋冬蠶種)名稱(赤引青引小)及ヒ夏蠶種ハ産付ノ月日ヲ産付以前ニ原紙ノ表面ニ記入シ製造人ノ(商標アレ)住所氏名ヲ記シタル印章ヲ裏面ニ押捺スヘシ

第五條 蠶卵紙ノ掃殺ハ掃立後一箇年間保存スヘシ

第六條 繭ハ其種類及ヒ殺繭方ノ異ナルモノヲ混同販賣スヘカラス

第七條 生絲ハ商標登録簿又ハ住所氏名ヲ明記シタル印章ヲ捺捺シタル票紙ヲ一束又ハ一提毎ニ

卷付スヘシ

第八條 生絲ハ不正ノ重量ヲ付シ販賣スヘカラス

第九條 生絲ハ一捆ハ勿論一束一把中長否混淆販賣スヘカラス

但等級ヲ區別シ一捆トナシタルモノハ此限ニアラス

第十條 蠶絲業者ハ其年ノ産額價額ヲ翌年一月中縣廳ニ届出ツヘシ

第十一條 蠶絲業ニ従事スル者郡市町村ノ區畫ニヨリ各業ヲ通シ又ハ各別ニ組合ヲ設クルトキハ

左ノ各項ニ準據シ規約ヲ定メ知事ノ認可ヲ受クヘシ

但組合ヲ分合シ又ハ規約ヲ改正スルトキモ亦本文ニ準シ其都度認可ヲ受クヘシ

一 組合ノ名稱及ヒ組合事務所ノ位置

但出張所等アルトキハ其位置

二 組合役員選舉及ヒ處務規程

三 規約違背者處分規程

四 組合會議ニ關スル規程

五 經費出納ニ關スル規程

六 組合加入者及退去者ニ關スル規程

七 繭産卵生絲等検査規程

八 事業ノ改良進歩ヲ圖ルノ事項

九 蠶病豫防ノ方法

十 工男女使傭ニ關スル方法

十一 右ノ外組合ニ必要ナル事項

第十二條 組合ハ事務所ヲ設ケ役員ヲ置キ組合ノ事業ヲ處理スヘシ

第十三條 組合員ハ必ス其組合ノ證票ヲ携帯スヘシ

但組合手代等ヲ使用他行セシムル者ハ附屬證票ヲ携帯セシムヘシ

第十四條 證票又ハ附屬證票ハ組合事務所ニ於テ之ヲ調製シ縣廳ノ檢印ヲ受ケ之ヲ交付スヘシ

第十五條 組合員ハ本則第十條ノ産額價額ヲ翌年一月十五日限り組合事務所ニ届出事務所ハ之ヲ

統計シ其事業事蹟ト共ニ毎年一月中縣廳ニ届出ツヘシ

第十六條 組合一切ニ關スル一介年ノ費用ハ事務所ニ於テ之ヲ精算シ毎年一度縣廳ニ申報スヘシ

第十七條 組合員ハ蠶種ノ製造ニ供用シタル原繭出殻ハ蠶種出來方検査済ノ後ニ非ラサレハ他ニ